



出羽庄内国際村

英語教育を学ぶコロラドスタディツアー2018

2018年7月30日～8月11日



(公財) 出羽庄内国際交流財団

目 次

英語教育を学ぶコロラドスタディツアー

■ ツアーの概要／ツアー期間／アメリカ・コロラド州について	2
■ スタディツアー 日程表	3
■ 参加者による報告	
渡部 裕香さん	4
塚形 由香さん	18
日向 絵菜さん	42
■ ツアー参加者名簿・同行者より	58

英語教育を学ぶツアー

● ツアーの概要

出羽庄内国際交流財団では、2007 年より山形県と姉妹県州となっているアメリカ合衆国コロラド州でのコロラドスタディツアーを実施してきました。また、2014 年からは、英語や英語指導法を集中的に学ぶ「英語教育を学ぶツアー」を、同時期に実施してきました。

今年で 5 回目となる今回のプログラムでは、全泊ホームステイをしながら現地の英語学校に 4 日間通い、様々な国の学生と一緒に英語を学んだほか、英語指導についてのディスカッションなども行いました。また現地の高校や保育園を訪問したり、「サマーキャンプ」と言われる夏季休暇の子どもの様々な活動を見学、交流なども行いました。

● アメリカ合衆国 コロラド州について

- ・面積 : 26 万 9837 km² (日本の 4 分の 3)
- ・人口 : 約 5,356,000 人 (2014 年)
- ・州都 : デンバー市
- ・気候 : 山岳、高原、砂漠と様々な地形があり、気候も複雑なものになった。
- ・日本との関係 :



1886 年に松平忠厚が日本人として初めてコロラドの地を踏んで以来、日本人移民がデンバーにも入るようになり、炭鉱夫、鉄道工夫として出稼ぎにきた日本人がかなり居住していた。第二次世界大戦当時、西海岸に住む日系人 12 万人が内陸部に強制移住させられたが、当時のコロラド州知事ラルフ・カー氏は、迫害された日系人を温かく迎え入れた。現在山形県とコロラド州は姉妹県となっている。

コロラド州在住日系人 約 19,000 人

在留邦人 約 4,186 人 (2014 年 10 月)

● スタディツアー 日程表

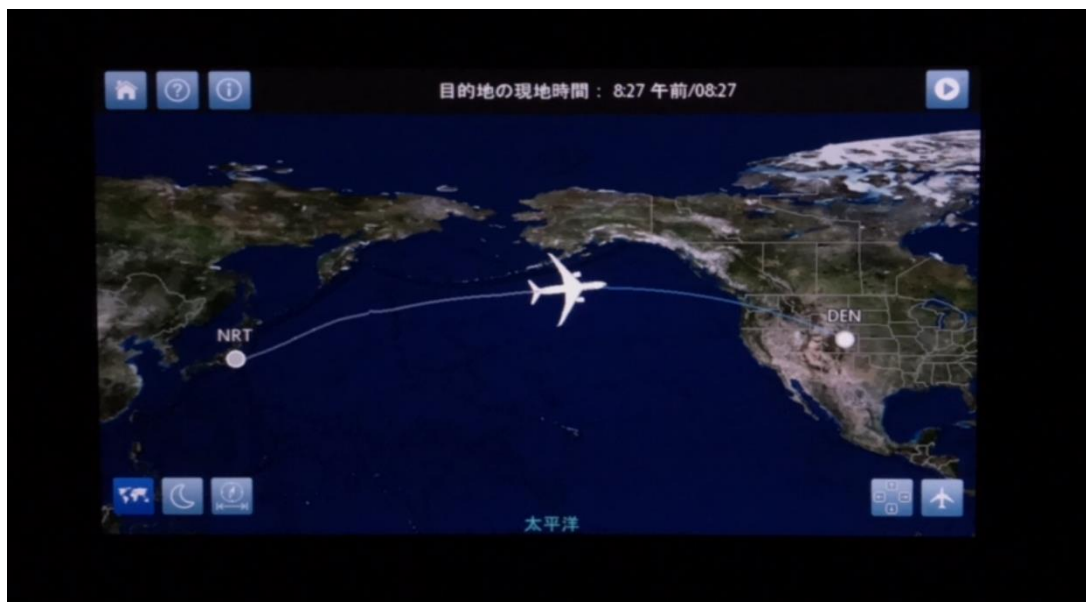
・期間 2018 年 7 月 30 日～8 月 11 日 13 日間

・日程

月 日	時 間	訪問先など	内 容 など
7/30	17:15	成田空港→ コロラド・デンバー	日本から直行便で移動
7/31	午前	Nina Bee's プレスクール	紙芝居、エブロンシアターなど
	午後	サマーキャンプを見学	
8/1	終日	Colorado School of English で英語研修＋英語教育につい てのディスカッション	3 時間の英語授業を受けた後、英語 の指導法についてディスカッション
8/2	終日	Colorado School of English で英語研修＋英語教育につい てのディスカッション	3 時間の英語授業を受けた後、英語 の指導法についてディスカッション
8/3	午前	朝食付乗馬体験	一般ツアーグループと合同
	午後	ロッキー国立公園	
8/4	全日	ホストファミリーデー	
8/5	午前	日系人会主催ピクニック参加	200 人分の芋煮を作りふるまう。 花笠踊りを披露
	午後	ホストファミリーと過ごす	
8/6	終日	Colorado School of English で英語研修＋英語教育につい てのディスカッション	3 時間の英語授業を受けた後、英語 の指導法についてディスカッション
8/7	終日	Colorado School of English で英語研修＋英語教育につい てのディスカッション	3 時間の英語授業を受けた後、英語 の指導法についてディスカッション
8/8	午前	地元公立高校を視察 デンバー南高校	生徒数名に学校案内をしてもらう
	午後	自然科学博物館見学	
8/9	全日	コロラドスプリングス市を 訪問	ブロードムーア ホテルを見学
8/10 11		デンバー→成田 羽田→庄内	最終便で鶴岡着

COLORADO STUDY TOUR 2018 7/30~8/12

Yuka Watanabe



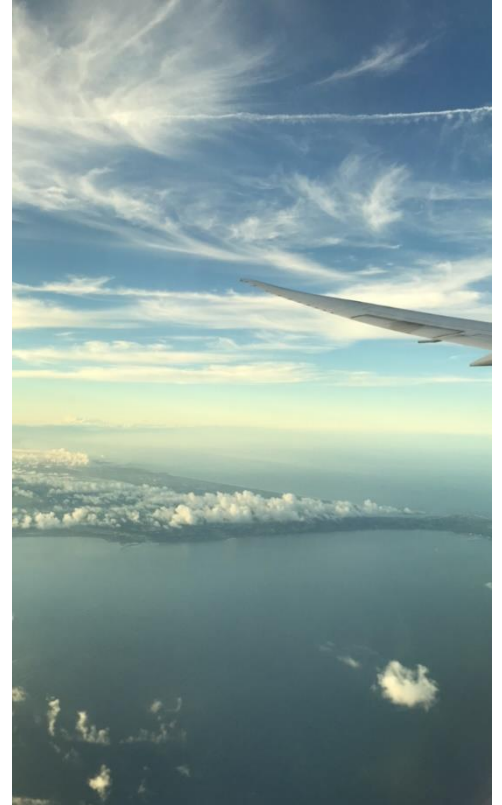
7/30(月) 1日目

初の外国！初のホームステイ！初の国際便！ということで、成田空港で既に異国の雰囲気を感じ興奮していました。10 時間というロングフライトでしたが、これから始まる未体験の毎日にわくわくとドキドキを膨らませ、また国際便の快適さや隣の綾子さんのおかげもあり、楽しく過ごすことが出来ました。

税関を抜けるとすぐに私がお世話になったディック家のお母さんキャサリンと息子のコールが迎えに来てくれました。みんなとの別れは心細かったです。10 時間もフライトして心の準備もできていたはずなのに、いざとなると緊張でいっぱいでした。そのあとお昼にタコスのお店に連れて行ってくれました。英字だけのメニューに混乱しましたが、説明してもらいながらなんとか選ぶことが出来ました。はじめは一個で十分かなと思い、頼もうとしたのですが、小さいよと言われて二個頼みました。来たらびっくりとても食べきれぬ量ではなく持ち帰りました。ドリンクも大きく、早速アメリカを感じました。次にスーパーに行きました。たくさんの見たことのない商品、大きな食品棚に目が泳ぎっぱなしでした。そのあとアウトドアショップに行き、銃を撃つゲームをしました。面白かったです。

とにかくコロラドは思っていたよりも暑くなく、湿度も低くてとても快適でした！！

また、街の雰囲気、家の中から日本とは全然違って、そこにいるだけで楽しい！という感じでした。夜ご飯はお父さんのピーターも一緒に食べました。楽しい反面、やっぱりネイティブの話すスピードを聞き取ることは難しく、また上手く自分の伝えたいことが伝わらず、自分の英語力の低さを痛感する一日にもなりました。でもまだ一日目だ！と自分を奮い立たせて寝ようと思いましたが、わくわくして2時で目覚め、4時で目覚め、これが“JET LAG...??



7/31(火) 2日目



プレスクールにお邪魔させていただきました。そこで保育園の子どもたちに“エプロンシアター”で三匹の子豚を発表しました。日本語での発表で楽しんでもらえるか心配でしたが、幸さんや先生方のサポートもあり無事成功することができて良かったです。そのあと離れた公園に遊びに行きました。すごく私のことを好いてくれた子がいて帰るまでずっと手を離さないでいてくれた事がとても印象的です。みんなとても可愛くて、終始癒されていました。一瞬でしたが仲良くなれて嬉しかったです。



次にジョアンのサマーキャンプに参加した小学生と一緒に小学校のグラウンドでお昼ご飯を食べました。そこで野球をしていた男の子達に勝手に混ざって外野をしていたら、打たせてくれました。あまりに楽しくてバンバン打ちやいました。ピッチャーもさせてもらってとても楽しかったです！絵菜さんも楽しそうで良かったです！そのあと小学生の子達に漢字の当て字で名前を書いてあげました。習字で書いたのですが、いい名前がたくさん出来ました。



語学学校に行ってテストを受けました。リーディングが一番難しかったです。この日初めて“Uver”と呼ばれる乗り物の存在を知りました。急にコールが知らない人の車に乗り込んだので驚きましたが、タクシーのようなシステムでした。日本にもあれば良いのに...と思いました。家に帰ったら知らない人がいて、そしたらコールのお兄さんだった!知らなかった... そのあとライムスクーターというのに乗りました。急で戸惑いましたが、なんとか乗ることができました。ライムスクーターは自転車と比べ物にならないくらい速くて、正直怖かったです(笑) 夜は今度は家で手作りのタコスを食べました。とても美味しかったです。



8/1(水) 3日目

コロラド・スクール・オブ・イングリッシュでの授業初日！ネイティブスピーカーでない他国の人との会話は人によって話し方に癖があり通じないところもあり大変でしたが、逆にとても良い経験だなと思いました。みんな必死に質問をしていて授業に対してとても積極性があり、またそこが日本の生徒とは違って、刺激をもらいました。自分の学習意欲も自然とあがり、こんな環境で授業を受けたいと思いました。

パワフルなアンダーソン先生→



家に帰ったらコールがなぜか友達を連れてきていました。彼はすべてが急で前置きもないので困ることが多かったですが（笑）はじめはあまり気分も乗らなかったのですが、ショップをまわるうちに彼は面白い人だとわかりました。彼の友達のホアキンも面白い人でこの日をきっかけに二人と仲良くなれて良かったです。コロラドショップに行ってトレーナーを選んでもらいました。コロラドのマークがプリントされていてお気に入りです！

家に帰ってから英語を教えてもらったり、YouTube を一緒にテレビでみていたのですが、日本の「君が代」が好きだと言ったことにとても驚きました。たぶん好きなのは歌詞などではなく、たまたま入っていた鐘の音でした。

夜ご飯はチキンでした。バーベキューソースがとても美味しかったです！



8/2(木) 4日目

コロラド・スクール・オブ・イングリッシュ二日目。

1時間 25分の授業が三限あって一限目はリーディング、二時限目は文法、三限目はスピーキングとリスニングでした。この日、私は授業の内容より大切なことに気づきました。他の生徒は文や発音が違っていても気にせずすぐ質問したり、答えたりします。だからこそ実践力がつくのだと思いました。私は間違いを恐れて発言をする前にどうしても考えてしまうのですぐに発言が出来ません。なので、みんなを見習いたいと思いました。





学校終わりにコールがお菓子屋さんに連れて行ってくれました。お菓子だけの店に行ったこともなかったし、見たこともないお菓子ばかりで終始驚いていました。お土産用などにおすすめされたものを買いましたが、カードが使えず困りました。後からお金が入っていないことを知りました... 私はこの日初めてリコリッシュというグミのようなお菓子を食べました。私は味も食感もあまり好きではなかったですが、アメリカでは人気みたいです。アメリカもお菓子や飲み物は値段が高くて驚きました。景気がいいのかな

明日は朝四時でおきて馬に乗りに行くぞ～ということで準備をして早く寝ました。

8/3(金) 5日目



今日はずっと楽しみにしていた乗馬とロッキーマウンテン！久々にみんなと会えてとても嬉しかったです！タカさんの14人乗りのバンに乗ってもう朝からワクワクがとまりませんでした。車の中で由香さんと進路の話をして為になる話をたくさん聞かせてもらいました。さすが先生！窓から見える景色も、タカさんが話してくれた話も思い出です。野生のシカが横断している道路を通っていよいよ乗馬体験！たくさんの馬がいました。私の馬はチキンという名前でした。結構急な山道を登って行ったのですが、チキンはとても利口で可愛かったです。1時間ほど乗って、朝食会場に到着しました。ロッキー山脈で食べるパンケーキは最高でした。



また車に乗って、次はロッキー山脈国立公園に行ってきました。アスペンの木がシャラシャラしていてきれいでした。日焼け止めにもなるみたいです。野生のリスなども見ることができました。標高が高くなるにつれ寒くなっていきました。どこから見ても大自然を感じて、こんな貴重な体験が出来たことに感謝です。

←「今ロッキー山脈の背骨にいるんだね！」早香子ちゃんと。お土産屋でお土産とたくさんステッカーを買いました。どれも可愛かったです。

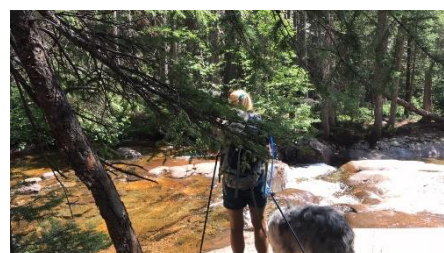
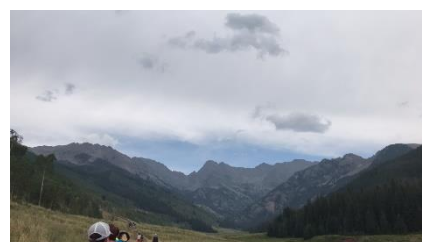


この日からvail（ベイル）という場所の別荘に泊まることを家に帰ってから知り急いで支度をしました。ベイルに向かう途中レストランに寄ってピザを食べました。とても大きくて、二枚で十分でした。レストランにあったダーツもしてとても楽しかったです。レストランの中は客の話し声がすごくて、話を聞き取るのも一苦勞でした。私がアメリカに来てショックだったことは店員がガムを噛んでいることと、アルコールを飲んでも運転が出来るということです。また、この日はファーストフライデーで、ファーストフライデーはみんな軽いパーティーのようなことをするのだとピーターが言っていました。ベイルの別荘はとても綺麗で、ベランダからは大きな天の川とたくさんの星と川だけが見えて、本当に素敵でした。写真が撮れなかったのが残念です。二段ベッドが2セットあるシャワー付きの部屋を独り占め..最高でした。



8/4(土)6日目

ホストファミリーデー 土曜日の朝はみんなゆっくりです。私はやっぱり一番に起きました。今日は人生初のハイキング！マウントベイルを登りました。私ははじめハイキングの魅力がわからず、キャサリンに何がいいのと尋ねたら、自然が美しい・静かでいいと言っていました。キャサリンは私のこの質問が可笑しかったらしくお別れの時までこの話を持ち出していました（笑）周りにはタンクトップと短パンの人、サンダルで登っている人もいて、すごいなあと思いました。大きな湖のほとりで結婚式をあげていて素敵でした。コロラドの人はみんな自然を愛しているのだと感じました。行きは少し辛かったですが、帰る頃には私もハイキングが楽しいと思えるようになりました。結構登ったところで、急に短時間の大雨が降って靴が泥だらけになったのもいい思い出です。20キロも歩きました！！



犬と登っている人も！→



夜はベイルのショッピング街に行きました。アメリカンとはまた違った異国の雰囲気になり飲み込まれました。まず、イタリアンレストランでディナーを食べました。パスタは美味しかったです、フランスパンにオリーブオイルとバルサミコ酢をつけたものは強烈でした。みんなたっぷりつけるので驚きました。そのあとコールといろいろな店を回りました。タカさんに貰ってとても気に入ったSkittlesをお土産用にと12袋も買った店員さんがずっと笑っていました。酔っ払いのおじさん達がみんなで熱唱していたり、ここでも結婚式が挙げられていたりして、とても面白かったし、素敵なところだと思いました。歩きながらコールとそれぞれの国の事だったり、学校の事だったり、進路の事を話して、知らなかったことをたくさん知れて為になりました。この何日間でもここまで語ったことはなかったので楽しかったです。絶対また行きたいところナンバーワンです！

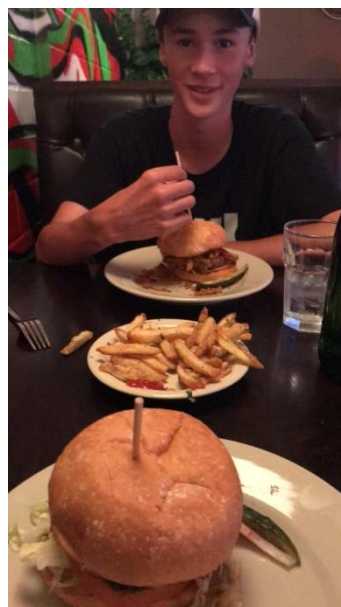
8/5(日)7日目



パークレー湖で日系人の方々と交流ピクニック
今日はみんなで芋煮を日系人の方に振舞いました。味噌も醤油も美味しそうでした！遅れてごめんなさい。芋煮を渡すときなど英語で説明したりするのが楽しかったです。他のチームが作った焼肉やおにぎりなども美味しかったです。そのあと花笠を踊りました。観客も楽しそうでしたが、踊っている私達が一番楽しんだんじゃないかなと思います。由香さんのスピーチも素敵でした。元三中、南校の方がとても印象に残っています。その方にいろんな興味深い話を聞かせてもらって、とても楽しかったです。配られたアイスクリームがとても甘くて、ここでもアメリカを感じました。200 人もの人で賑わっていて、このような交流の機会があることはとてもいいことだと思いました。

家に帰ってから今日はコールがゴルフに連れて行ってくれるということで、人生初ゴルフをしにゴルフ場に行きました。たくさんの方がいました。最初に打ちっぱなしをしたのですが、ボールに当てるだけでも難しくて、あっという間に手持ちのボールが無くなってしまいました。コールはゴルフの大会で一位を取るだけあって、飛距離や勢いがすごかったです。そのあとパターをしましたが、近くても正確さが必要なのでこれまた難しかったです。でも、いい体験をさせてもらいました。ゴルフバッグはとても重かったです。

そのあと、夕食にハンバーガー屋さんに行きました。アメリカのハンバーガー屋さんに行けただけでとても興奮しました！ポテトも多くて、牛肉のパティもミディアムで分厚くておいしかったです。アイスクリーム屋さんにも行ったのですが、アメリカのSは日本のLです！



8/6(月)8日目

コロラド・スクール・オブ・イングリッシュ三日目。
今日のリーディングのクラスでは、英語で書かれた短い本を読みました。絵もあったので何となく内容はつかめました。やっぱり単語って大事ななあと思いました。スピーキングとリスニングのクラスで似た発音の単語をどれを言ったか当てるゲームをしました。

楽しそうな絵菜さん→

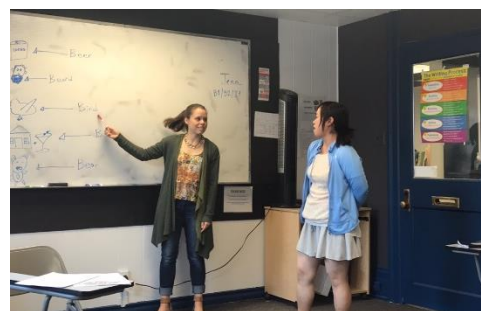


この日初めて Hansens を飲んだのですが、美味しくて気に入りました。写真まで撮ってしまいました。

夜は moonrise kingdom という映画を見ました。英語で字幕もなかった所以内容はよくわからなかったのですが、雰囲気は好きでした。コールとジョアンのオススメということで、日本に帰ってきてからもう一度借りて見ました。

私はヒロインの女の子がとても好きです。可愛い♡

Kara Hayward →



8/7(火)9日目



コロラドスクールオブイングリッシュ最終日
一コマコマ最後のクラスだと思いと寂しかったです。他の生徒にまた明日と言われて、実は今日で最後なんだと言ったら、悲しんでくれて、会えてよかった今度はあなたに会いに行くよと言われた時は本当にうれしかったです。みんなフレンドリーで短い間でしたが仲良く過ごせて良かったです！毎日クラスが終わってから、日本と他の国の教育や授業の違いなどをロビンと話し合ったのですが、幸さん、由香さん、絵菜さん、みんな英語でちゃんと自分の意見を伝えられることがうらやましかったです。私は意見もぱっと思いつかない上に英語で伝えるのも難しくて幸さんに助けられました。もっと勉強して話して、みなさんを目指します！そのロビンに感謝のメッセージカードを渡しました。ロビンは笑顔が素敵で優しくてまたこの学校に来たいと思わせてくれました。本当に行きたいなあ...

ジョアンが学校まで来てくれて、そのあとはみんなでダウンタウンをまわりました。コロラドショップでTシャツを買って、お菓子屋さんに行って、念願のハードロックカフェに行きました！お店にはグッズも売っていて、絵菜さんと私は大興奮でした！オーダーをしてから二人でショップに行って買い物を楽しみました。ハンバーガーもとっても美味しくて、大満足でした！！

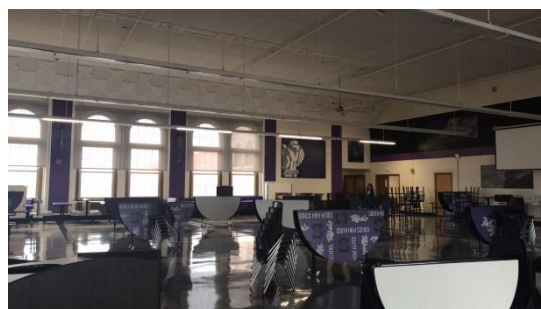
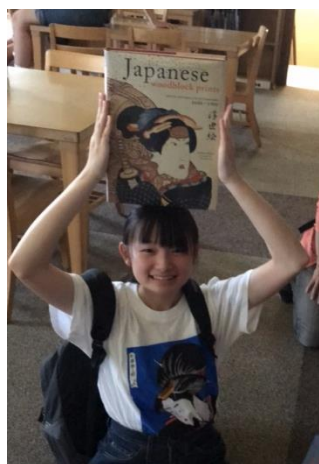


ユース・イン・アクション YIA の人たちと交流
コールも所属しているユース・イン・アクションの
子達と自己紹介をして遊びました。先日彼らは日本
を旅し、私の学校にも訪問しました。日本に行くた
めに一年前から自分でお金を貯めたり準備する彼ら
も凄いです、何よりジョアンが凄い... ジョアン
って何者なんだろう。

YIA の子達と質問し合うゲームをして、次に福笑い
をしました。私は日本人なのに福笑いをしたのはこ
れが初めてでした。そのあと、私達は旅立ちの日に
を歌い、YIA の子達は YMCA を踊りました。コールの
ダンスが面白すぎてみんな爆笑でした。これからも
このような交流が増えたらいいなと思いました。

8/8(水) 10日目

デンバーサウスハイスクールに訪問しました。生徒
会の可愛い女の子たちに校内を紹介してもらいま
した。結構古い学校らしく、歴史が感じられる校内で
した。資料室のようなところにはたくさんの写真な
どが飾られていて、特にアメフトの写真が多く、ア
メフトがいかに人気なのかがわかりました。この日
は新入生オリエンテーションの日で、たくさんの新
入生とすれ違いました。体育館には壁にデンバーの
高校のチームロゴが飾られていて、床にはデンバー
サウスのロゴが。食堂はとても広くて、テーブルに
も壁にも柱にもスクール名とカラーの紫が入ってい
てすごかったです。図書館には Japanese と書いてあ
る本があって、その表紙が浮世絵でした。たまたま
私は浮世絵Tを着ていたので一緒に写真を撮りました。
細い螺旋階段を上ると外が見渡せる場所があり
ました。そこからはグラウンドも見えました。日本と
は違う学校や学生の雰囲気を感じられ、とてもいい
機会になりました。ここで一旦幸さんとお別れしま
した！





ダウンタウンのCDショップに行きました。まず、お店の大きさとたくさんのCD、レコード、Tシャツまで売っていて、とても興奮しました！レコードの視聴コーナーがあって、初めてレコードを聴きました。私はTシャツが好きで、ここにも魅力的なTシャツがたくさんありましたが、コールと隅から隅まで見て、二人ともいいと思ったビートルズのTシャツを買いました。日本に来てからすぐ着たりして、とてもお気に入りです！

そのあと、隣の本屋に行きました。ここもやっぱり大きくて、地下にはキッズコーナーがありました。まわりきることはできませんでしたが、面白そうな本がたくさんありました。一番驚いたのは本屋から出ようというときに、入り口のところにあった雑誌の表紙がコールのお母さんだったことです。本当に驚きました。凄い人なんだなあ。



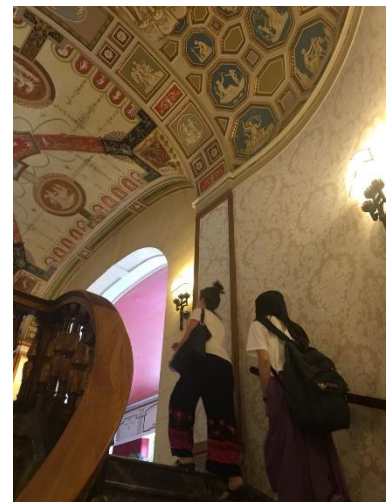
お昼はみんなでサンドウィッチとハンバーガーを食べました。老人ホームから来たと思われるおばあさん、おじいさんがたくさんいて、年をとっていてもくもくハンバーガーを食べていて、日本では見られない光景だと思いました。



自然科学博物館で幸さんと再び合流しました！入るとすぐに大きな恐竜が迎えてくれました。宇宙や恐竜などいろいろなコーナーを回りました。科学のコーナーでは小さい子に混じって白衣を着てDNAの実験をしました。よくわかりませんでしたが楽しかったです。グッズショップもありました。とにかく小さい子が多くて、にぎやかでした。

8/9(木) 11日目

今日は四人で行動できる最後の日です。朝からジョアンに乗ってコロラドスプリングスという市に行きました。ジョアンが **GOLDEN BEE** というお高めのレストランでのランチを予約してくれて、それと一緒に五つ星ホテル **The Broadmoor** の中にも入れてホテル業を目指している私にとってはとても貴重で最高の機会になりました。二つの建物が橋でつながれていて、湖では小さいボートに乗っている人がいたり、沖ではたくさんの人が水着で椅子に寝ていたり、山のほうにあるのにリゾートみたいでした。ホテルの中は見るからに高級という感じでした。外国のホテルマンは日本のホテルマンよりも少し丁寧さや思いやりが欠けているのかなと思っていましたが、笑顔で丁寧な接客をしていたので感動しました。また、私も彼らのようになりたいと思いました。一番驚いたのはトイレです。手を洗ったあとの手拭きがあんなにストックされているなんて... 清潔感に感動しました。**GOLDEN BEE** では初めてフィッシュ&チップスを食べました。魚がふわふわでポテトもたくさん入っていてこんなにも美味しいのかと感動しました。この後腹に当たるとは思いもしませんでした.. しかも由香さんもだったなんて.. でも腹に当ってでもまた食べたい味でした！レモンスカッシュも最高に美味しかったです！お値段には驚きました。さすがでした。本当にジョアンに感謝です。最高の思い出になりました！





そのあと **Garden of the Gods** の大きな岩を見に行きました。赤っぽい岩の壁が高くそびえ立っていました。どうしてここだけ？と思うほどその岩だけがドカーンとありました。暑い中でしたが多くの人っていて、岩を登って頂上まで行っている人もいました。野生のシカもいたりして、大地を感じられました。

←Kiss するリスだそうです。



少し移動して、お土産屋さんに行きました。コロラドっていろんなところにコロラドのグッズがたくさん売っていてそこもいいところだと思います。たまたまコールがよく使っている絵文字のクッションがあったのでお土産にと買いました。

この日で絵菜さんとお別れでした（予定では）。なので絵菜さんとの別れを惜しみつつ一足さきにみなさんとお別れしました。



最後のディナーは和食レストランに連れて行ってくれました。寿司というかカリフォルニアロールしかなかったのですが、アボカドやマカダミアナッツがゴロゴロ入っていて、日本人の私からしたら、これは寿司じゃない！と言いたくなりました。でもこれも経験だなあと思って食べました。コールの家はみんな箸の使い方が上手でした。箸ももうアジアだけのものじゃないのだなと思いました。初日にお土産として持って行った浮世絵の箸使ってほしい... ！



家に帰ると、コールとピーターが大きな風船柄の可愛い紙袋を持ってきました。中を見ると、たくさんのお菓子や、本、UNO、それにTシャツ三枚も入っていました！私はそんなサプライズをされるとも思っていなかったのので、お返しに渡せるものがたまたま買った絵文字のクッションしかなかったことを後悔しました。でも一個でもあって良かった... 手紙にも嬉しくなりました。私も即興で自分の力で手紙を書きました。本当に感謝しかありません。

8/10(金) 12日目

最終日

朝、本当に悲しかったです。ピーターとは家でお別れして、キャサリンとコールと空港へ向かいました。空港へ行く途中カフェに行ってお食パンケーキを食べました。凄く美味しかったけど、気持ちは寂しいままでした。

空港に着いて由香さんと合流！幸さんとジョアンとも合流して渡航手続きへ。三日前くらいに悲しくて涙が出たので、もう涙は出なかったけど、本当に悲しかったです。感謝の気持ちを伝え別れを惜しみながら、サヨナラしました。

驚くことに絵菜さんが台湾行の飛行機に乗り遅れたのでまた会えることに！絵菜さんは大変だったと思いますが、またみんなで会えて嬉しかったです(笑) 急きょ違う便で乗り継いで帰るなんて、でも絵菜さんの行動力で無事に帰れたみたいで安心しました。本当に絵菜さんならノリでどこでも生きていける気がしました。

飛行機に乗り込む前にジョアンに四人で書いたメッセージカードを渡しました。本当にジョアンは凄い人です。感謝の気持ちでいっぱいです。また、どこかで会いたいと思いました。幸さんともここで別れして、飛び立ちました。

飛行機の中でも、由香さんと思い出話をして寂しくなったり、映画を見たり、隣の人と三人でストレッチをしたりして、約12時間過ごしました。由香さんのお陰でバスにも乗れて、一緒に久しぶりの天井、ホカホカのお米も食べれて、乗り継ぎもできて、最後は楽しい二人旅になりました。ありがとうございました。

フライトも含め、この13日間は今までの人生の中で一番と言えるほど、貴重で充実した一日一日になりました。最初から最後まですべてのことが学びで、異文化での生活や体験は本当に忘れられない思い出です。出会えたみなさんに感謝ですが、特にディック家の人たち、ジョアン、一緒に行ってくれた幸さん、由香さん、絵菜さんには本当にお世話になりました。みなさんはもう友達のような家族のような存在です。本当にありがとうございました。



英語教育を学ぶスタディーツアー2018



「Garden of the Gods」 巨大な赤い岩石が圧巻

July 30th to August 11th, 2018

塚形 由香

[はじめに ～参加の動機～]

2020年から、日本でも、小学校で外国語（英語科）の授業がスタートすることとなった。これに先立ち、酒田市では、今年度から先行実施が始まり、私は、2つの小学校で英語専科として、3年生から6年生までの12クラスを受け持つこととなった。文科省から出されている「Let's Try! 1,2」（3年生用、4年生用）と「We can! 1,2」（5年生用、6年生用）のテキストブックを使い、日々の授業を進めているが、内容的にも難しく、また、ボリュームもあって、なかなか定着を図るのは大変だと感じているときに、このツアーのチラシを目にした。『英語教育を学ぶスタディーツアー』。＜英語を母語としない人のための英語指導法についての研修＞。さらに、＜全泊ホームステイでアメリカの生活体験＞とは、英語力アップを図りたい私にとって、もってこいのツアー。まさにこれこそが、私が求めている内容ではないか！！とすぐに参加したいという思いが湧いた。しかし、いくら夏休みとはいえ、会議等や日直もあるし、2週間近くも家を空けるのはやはり心配だったが、快く許可してくださった校長先生、教頭先生、家のことは大丈夫だと言ってくれた母、がんばって勉強して来いと応援してくれた知人のお蔭で、思い切って参加することに決めた。

アメリカで体験する全てのことを、クラスの子ども達に紹介することで、アメリカや世界に興味を持ってもらい、英語で話してみたい、自分も外国に行ってみたい、という思いを持ってもらえたら、英語専科としての私の役割も、また1つ果たせると思ったのも動機の1つだった。

1. 教育に関すること

(1) 各施設訪問

①Nina Bee's Preschool（保育園訪問）

7月31日（火） 9:00a.m.～11:00a.m.

教会の中にある保育園で、20数名の子ども達が通って来ていた。日本人の先生もいて、子ども達は、日本という響きに慣れているようだった。登園後は荷物を個人のロッカーに入れ、ブロックや人形、ミニカーなどを使って自由遊びをしていた。片付けは音楽を流し、曲の間にしていた。いよいよ出し物タイム。絵菜さんは、別室で、折り紙を教えたいらしい。私と裕香ちゃんは同じグループで、始めに、裕香ちゃんが、「3匹のこぶた」のエプロンシアターをした。日本語だったが、途中で「糸巻き巻き～」の歌を入れながら、テンポよく進めていた。子ども達も食い入るように見ていた。裕香ちゃん、がんばりました。次は、私の番。去年まで使っていた、「Hi, Friends!」という教科書に載っている「桃太郎」のお話を紙芝居にして持って行った。少し言葉を足しながら、英語で話した。みんな真剣に見てくれて、とてもうれしかった。

出し物が終わると、おやつタイム。先生が一人一人の名前をアルファベット順に呼び、呼ばれた子から手を洗って自分の席に座るシステムだった。日本でも、出席番号順に並んだり物をもらいに来たりするので、同じだと感じた。おやつは、クラッカーとピーナッツバターにバナナ。それぞれが思い思いに食べていたが、自分でしっかり片付けをすることに驚いた。行動が遅い子がいて、みんながいなくなっても、マイペースで食べていた。日本でも、アメリカでも、同じ光景があるのだなあと思って、少し、微笑ましかった。

おやつ後は、みんな布団を出し始めた。もう、お昼寝タイム？と思ったら、散歩に行った後の準備をするのだそう。どうしても話しかけてきて、準備がままならない子がいたので、一緒に手伝ってあげた。

公園に遊びに行くというので、ついて行くことにした。道路の歩き方も上手だったが、途中で先生が後ろ向きの歩き方や、小走りなどをして見せていて、日本では、絶対にありえないと思った。(ちょっとでも列を外れたら、おいて行きますよ。っと叱られるものね。) 公園では、ひっきりなしに話しかけてくる子ども達がとてもかわいかった。木の下に連れて行かれ、「You stay here ever.」と言われたが、なんとかごまかして、その場を脱出できた。行動の切り替えが早くでき、みんなとても行儀がよかった。先生方も「泥あそびがダメ。」とか「木にぶら下がってダメ。」とかほとんど注意することもなく、見ているこっちがはらはらする場面もあったが、おおらかな感じがした。さすがアメリカだなあと思った。小さい子の話す英語は早くて、口の動きもまだはつきりせず、とても聞き取りにくかった。



みんな元気でかわいかった、保育園の子ども達

②JoAnne's Summer camp

7月31日(火) 11:30 a.m.~2:15 p.m.

保育園訪問の後は、同じ教会内で行われていた、JoAnne の Summer camp に合流した。小学生が対象で、低学年から高学年まで、幅広い年齢の子ども達が参加していた。毎年裁縫をするのが恒例のようで、自分で思い思いに作品を作っている姿が印象

的だった。わからないことがあれば、JoAnne や他の先生に聞いて、とにかく自由な雰囲気の中で進めているのが日本とは大きな違いだと思った。針などが床に落ちていても気にしないところが、なんとも、おおらか・・・

近くの高校まで歩いて行って、一緒に Lunch を食べた。何も気にせず、芝の上に座ることに少し抵抗があったが(日陰は湿っていたので、正直座りたくない気分だった。)ハンカチを敷いて、アメリカンスタイルに挑戦した。

Lunch から戻ってきて、本日2度目の「桃太郎」の紙芝居の読み聞かせ。保育園の子ども達とは少し反応が違って、途中で笑いが起こったところが正直、うれしかった。折り紙で作ったこまや、キャンディーをあげたら、とても喜んでくれた。その後、一人一人の名前を漢字にして、習字で書いてあげた。当てはまる漢字を探すのに苦労したが、なんとか3人でがんばった。



サマーキャンプで、楽しそうに過ごしていた、小学生の子ども達



教会近くの学校のグラウンドで、みんなでランチ

③YIA (Youth In Action)

8月7日(火) 6:30p.m.~8:00p.m.

Church で JoAnne の YIA のグループとの交流会があった。私は YIA の活動について今まで知らなかったが、中高生が2年後の日本留学を目標に、芝刈りやバザーなどで費用を貯めていることや、来日に向けて日本語を学んでいることなど、組織がしっかりしていてとても感心した。現在は国際村が受け入れ態勢を整えているため、鶴岡市中心の活動だが、なんとか酒田市でも受け入れができないか、関係各所に働きかけしていきたいものと思った。

さて、この日の交流会には、夏休み中にも関わらず、たくさん子ども達が集ってくれた。一般ツアーの中高生たちも合流し、最初に自己紹介をした。私たちは英語で、YIA のメンバーは日本語で、名前や年齢、好きな物などを順に言っていた。それからペアになって、好きなものが3つ揃うまで、お互い質問し合う活動をした。次に、4人グループになって、「福笑い」をした。英語や日本語で指示を出しながら、みんなが和気あいあいと楽しく活動することができた。最後は「旅立ちの日に」の合唱

を披露した。全員で練習する機会はなく、この時がぶっつけ本番だったが、なんとかなるもので、思いの外、きれいな2部合唱になっていた。YIAのメンバーも静かに聞いてくれた。お返しに、「YMCA」の歌と踊りを披露してくれた。若さ溢れる、個性的なダンスが印象的だった。



④South High School

8月8日(水) 8:30 a.m.~11:00 a.m.

JoAnneの車で、South High Schoolの見学に行った。校舎は総レンガ造りで、歴史の重みを感じることができ、時計台がシンボルにもなっている素敵な学校だった。夏休み中だったが、この日は新入生のオリエンテーションがあるとのことで、たくさんの中学生在いた。生徒会の役員らしき3人の女子生徒が校舎内を案内してくれた。興奮しているのか、かなり早口で、何を話しているのかほとんど聞き取れなかったのが、少しゆっくり話してほしいと頼んだ。



(最初はゆっくりになったが、また、早口に戻っていった。スピードには慣れてきたので、そのまま続けてもらった。)とにかく、学校のことをよく分かっていて、詳しく説明してくれることに驚いた。原稿を見ることもなく、あれほどしゃべられるのは、よほど、自分の学校を愛しているからなのと思った。この学校は、外国からの移住を受け入れており、特別な英語のプログラムを行っている。その後、英語が上達したら、各地区の高校へ編入できるシステムがあることが特徴だとのこと。校内には、卒業生たちの各種スポーツ大会での活躍の記録を展示したミュージアムがあり、大変興味深かった。お土産に、名前入りのリストバンドと水筒をいただいた。

(2) 語学学校 (Colorado School of English)

7月31日(火) 3:30 p.m.~ Placement test

昨年までは、語学学校での授業の様子を見学し、授業の後に先生方と Discussion していたようだが、今年は、私たちも実際に授業に参加することとなり、そのためのクラス分けテストを受けた。JoAnneは「Easy」と言っていたが、1人1台のパ

ソコンを使い、Writing, Reading, Grammar, Speaking, Listening としっかり全領域のテストがあり、かなり疲れた。

8月1日(水) 2日(木) 6日(月) 7日(火) 9:30 a.m.~2:30 p.m.

Colorado School of English は、現在、Denver で唯一 ESL (English as a Second Language 母語でない人にとって第2言語としての英語のコース) がある学校として、世界の様々な国から学生(16歳以上)を受け入れている。私たちが行ったときには、韓国、中国、サウジアラビア、ブラジル、フランス、トルコ、チュニジア、コロンビア、モンゴル、スペイン、ロシア、フィリピン、そして、日本、とまさに世界中からたくさんの学生が来ていた。年齢は20~30代が多かったように思えたが、性別も職業もそれぞれで、とても活気に溢れている印象を持った。

クラスのレベルにもよるが、私が入ったクラスの人数は大体15~16人程度だった。出入りも激しく、多いときには24人にもなり、教室はぎゅうぎゅう、机も足りない・・・という状態にもなっていて、外国人の大きな体から受ける圧迫感がすごかった。ここでは、私が受けた4日間のクラスの内容と感想をまとめてみた。

Reading and Writing 9:30~10:50 Robyn 先生

- ・読み方の種類として、3つを挙げて説明していた。
 - ①Scanning・・・specific information
 - ②Previewing・・・title, author, content
 - ③Skimming・・・high speed
- ・Dress code についての読み物
- ・Free reading(本を自分で選んで静かに読書)
 - Time reading (時間をかけて内容を理解しながらじっくり読む方法)
- ・Journal (Dress code について自分の考えを書く)

文書の読み方に種類があることは知っていたが、実際に例を挙げて、説明を受けるとわかりやすく、どの場面でどの読み方をすればよいか分かった。①については、私がクラスに入る前(前日)に学習していたようだが、復習をしてくれたので、内容が理解できてよかった。Dress code についての文章を読むときにも、学習した技能を生かし、大まかな内容を抑えてから読んだり、先に質問に目を通してから読んだり、大変役に立った。

Free Reading の時間では、今までの賑やかなクラスの雰囲気とは一変し、みんなが静かに読書する様子がとても興味深く、私もつい読書タイムにのめりこんでしまった。何もわからずとりあえず手に取った本だったが、読みやすく、家に借りていくことにしたが、結局帰国するまでには読み切ることができなかった。日本でも探

そうと思って、タイトル等を写真に撮っておいた。

Dress code についての Journal は、制服制度のある日本人の私にとっては比較的書きやすく、自分の考えをまとめることができた。ただ、書いたものを交流する時間がなく、少し残念だったが、発表するとなると、この時間のめあてではなくなるのだろうか・・・とふと感じた。

Grammar 11:05~12:30 Robyn 先生

- Noun Clauses (名詞節)
- Noun Clauses Beginning with That (That で始まる名詞節)
- Embedded Questions (間接疑問文)
- Gerunds (動名詞 ~ing)
- Infinitives (to 不定詞)



日本人にとって Grammar は、英語の技能の中で最も得意とする分野であると言われている。座学が多く、相手とのコミュニケーションをとる活動よりも、文章の内容理解に多くの時間を当ててきた日本の英語教育の強みでもあり、それが故に何年学習していても、まともには英語を話せないという、弱みでもあるのだと思われる。

この授業の中身は、決して難しいものではなかったが、文法を英語で説明されることへの違和感というか、品詞等の言葉がよくわからないもどかしさというか、そのようなもやもや感があったことは否めない。同じようなことを20数年前の語学留学でも感じていた私は、あの時からなんら進歩していない自分にがっかりするとともに、もっと英語の基本的な語彙を増やさなければならぬと強く感じた。

それにしても、外国の人たちは、よくしゃべる。少しでもわからないことがあると、たとえそれが、簡単な質問だったとしても、すぐに「Teacher」と先生を呼び、自分の疑問解決に向かうのである。お金を出して語学を学んでいる以上、それなりのものを身につけるために、わからないことを質問することは当たり前なのであろうが、あまりにも日本の学校の子供達らの授業の様子と比べると差がありすぎて・・・教員である私としては、何とか世界に太刀打ちできる日本人を、1人でも多く育てたいと強く感じた時間だった。

Robyn 先生は、細身ですらりと背が高く、それでいてパワフルで、とてもユーモアのあるあたたかい先生だった。朝、登校後にロビーにいと、いつも笑顔で声をかけてくれて、とてもうれしかった。授業の初めには Warm up として、カードを使ったインタビューをしたりなど、いろいろなゲームをして盛り上げたり、授業中にスマホを使わないようにさせる手立てとして、Phone Café なる Box を準備し、生徒が自発的に自分の携帯を入れられるように工夫したりしていた。



世界各国から来ていた、
Class mates

Speaking and Listening 1:05~2:30 Mary 先生 Amanda 先生

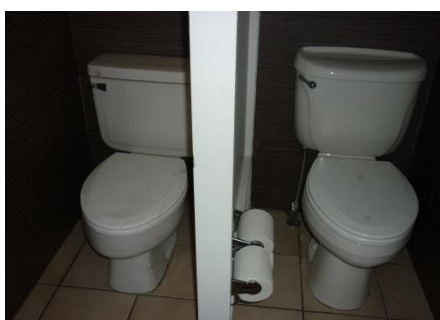
- Idioms review
 - would not mind = good
 - would mind = bad
- Discussion 「Texting」 (Send someone message メールやラインについて)

曜日によって、Mary 先生 と Amanda 先生の 2 人が担当していた。午前中のクラスとはほぼ同じメンバーだったので、緊張はほとんどなかったが、話し合いや討論が多いこの授業は、とにかく自分の考えや意見をずっと話さなければならないことがつらかったし、各国の人が話す英語がなんとも聞き取りにくく、とても苦戦した。普段聞きなれているアメリカやイギリスの英語とは違う、独特のなまりがあったり、必要以上に巻き舌になっていたり??の連続だったが、きっと相手にとっても同じ状況であることに変わりはないと思うと、勇気が出てきた。Debate では、日本人にとって馴染みの薄い「銃規制」などがテーマになっていたのも、かなり語彙にも悩まされたが、渡された資料を基に、とにかく自分の思いを表現することが大事だと考えて、集中したので、かなり疲れた。

Idioms の学習はとてもよかった。他の言葉で言いかえる練習や、習ったイディオムを使って、お題に沿って文を作ったり、自分の体験を語ったりすることで、無理なくイディオムが定着すると思われた。とても参考になった。

一方で、2 人の先生とも、話し合いに入ると、あまり机間巡視をせず、次の課題を板書しているだけだったので、途中で話題が逸れても、そのままになっていたのが気

になった。細かいことにとらわれない気質と言ってしまうとそれまでだが・・・わからないときは、「Teacher」と、私も質問することができたので、結果オーライだった。



左：S&LのMary先生 中：学校のトイレ 右：Blue Bareの後姿

Discussion after Classes 2:45~3:30 Robyn先生

・ General Questions

(授業の感想、どの活動がよかったか、難しかったか。など)

・ Observation Questions

(なかなか話せない生徒にどのように教師として働きかけるか、自分が行っている活動と比較してどこが効果的か実際にどんなことが習得できていたか。など)

・ Reflective Questions

(上記以外で話し合っていたこと)

毎日、授業終了後に、幸さん、絵菜さん、裕香ちゃん、私と、Robyn先生の5人で、授業についての意見や感想、日本での英語教育のあり方などなど、それぞれの立場で自分の経験に基づいて話し合いが行われた。話し合いの柱として、上記の3点が設けられ、Robyn先生が司会をしながら進めてくれた。

授業に参加して、「よかった点○」、「改善できそうな点△」「私が感じたこと◇」、をまとめてみた。

○必ずどの授業でも、その日の内容が板書されていたこと。

○導入時に必ず前時の復習があったこと。

○GameなどでWarm upがあり、スムーズに授業に入れたこと。

○ワークシートなどを使い、イディオムの確認ができたこと。

△練習問題の後の答え合わせが曖昧になっていたこと。黒板に書いたりテレビで見せたり回答を別に配るなどして、確実にチェックした方がよいのでは・・・

△DiscussionやDebate中に、各グループの様子をもっとチェックしてはどうか。

◇とにかく質問が多く、みんなよくしゃべる。

◇授業中に席を立って教室から出ていくことには驚いた。先生も、10分なら許可しているとのことだったが、日本では、緊急時以外は考えられない。また、飲み物を机の上に置いて、授業中に飲んでいることにも驚いた。(文化の違い?)

◇つい、日本の授業の様子と比べてしまうが、とにかく日本の子ども達は、発表が少ない。これも、国民性なのかもしれないが、やはり、それではいけないと感じた。英語で話せる話せない以前に、普段からいろいろなことについて自分の意見や考えを持ち、それを相手に伝える活動が必要なのだと強く感じた。最近、国語や社会の授業でも、ディベート的学習が行われるようになってきたが、相手を負かすことがいいことだ・・・という考えを持っている子もいて、教師が正しくその手法を学び、方向付けしていかなければならない。英語教育の前に、やらなければならないことが山積みの日本の教育制度の課題が見えたように思う。

4日間の授業の中で、私はこの時間が一番楽しく、充実していたと思う。授業中、いろいろな国の人たちと英語を通して触れ合えたことは、もちろん貴重な体験だったが、実際にお互いの「言葉の壁」を感じたことも事実であり、正直、「もっと英語力を磨かないと・・・」と痛感した。しかし、この話し合いの時間は、自分の思いや経験を十分に話すことができた。しかも、5人とも立場が違うため、それが何とも興味深かった。外国の人たちに日本語を教えている幸さん、台湾の日本人学校で小学生を担当している絵菜さん、高校生で、日々英語の授業を受けている裕香ちゃん、そして、英語専科として小学校3～6年生に英語を教えている私。Robyn先生は、日本で英語を教えていた経験もあり、日本人の特性についてもよく分かっていたので、話し合いがスムーズに進んだ。それぞれだからこそ、いろいろな視点で、効果的な英語の指導法について、たくさんの意見が出されたのだと思う。



Robyn先生とのDiscussionの様子

2. 毎日のできごと（活動、ホストファミリーとの時間）

7月30日（月）庄内空港 → 羽田空港 → 成田空港 → デンバー空港

さあ、いよいよアメリカ！！久しぶりの国際線にワクワクドキドキが隠せない。7：50、庄内空港集合だったが、家から近いこともあり、7：15に出ることにした。出がけに腕時計が見つからず、5分ほどあたふたしてしまったが、ちゃんと鞆の中に入っていた。年甲斐もなく、少し興奮しているのか・・・深呼吸をし、両親に「行ってきます。」の挨拶をして、空港へ。少なめにしようと思った荷物も、なんやかんやでかなり重くなってしま

った。計量したら、19kg。思ったよりも軽かったけどしっかり「Heavy」のタグを貼られてしまった。

一般ツアーの中高生6人、教育ツアーの2人、幸さん、綾子さんの10人で庄内空港を出発。絵菜さんは、台湾からサンフランシスコ経由でデンバーに入るとのことで、現地で合流となった。

長い移動と待ち時間だったが、成田発17:15発の飛行機に無事搭乗。機内は言われていた通りかなり冷房が効いていて寒かった。上着をはおり、ブランケットをかけて、後は、高山病予防、乾燥対策のために、とにかく水分をこまめに補給することにした。2回機内食があったが、チキンが苦手な私は、とにかくメニューに関わらず、チキン以外の物（パスタとソーセージ）を頼んだ。食後のアイスがおいしかった。映画を何本か見たが、飛行機のエンジン音で音声がよく聞こえず、到着後の活動に備えて眠ることにした。途中何度か目が覚めたが、現地時間7月30日（月）、13:00デンバー到着。

ホストファミリーとの出会い

到着ロビーに着くと、すぐさま、裕香ちゃんのホストファミリーが来て、言葉を交わす間もなく、行ってしまった。まさに、連れ去られてしまった・・・という感じだった。次は私の番だと思うと、ドキドキが止まらなくなった。それにしても、到着から15分も経過しているのに、どうしたのかな・・・顔も分からないし・・・だんだん心配になってきた。

待つこと20分、向こうから素敵な老夫婦がやってきた。やっと会えた。私のホストファミリー、BillとJudy。優しそうで穏やかそうで、とても安心した。2人は別の場所を探していたそうだが、無事合流できた。Billはすぐに私の重たいスーツケースを持ってきて、「さすがアメリカの男性だなあ。」と感心してしまった。事故で途中渋滞があり、迂回したため家まで1時間30分ほどかかったが、車の中では、ずっとJudyがゆっくり丁寧に話しかけてくれて、とても充実した時間だった。

家に着くと、部屋を案内してくれた。広いベッドに私専用のバスルーム、これから始まる13日間が快適に過ごせそうで、とても楽しみになった。初日のdinnerは、ミネストローネスープとパン、白ワインだった。外のテーブルにセッティングするところが、さすがアメリカ！！という感じがして、わくわくした。「いただきます」や「ごちそうさま」など日本の食事の挨拶の意味を教えると、とても興味を持ち、自分たちも使おうとしてくれた。8時過ぎまで明るくて、ついついワインも進んでしまった初日だった。



BillとJudy



私専用の広いベッド



初日の夕食（ミネストローネスープ）

7月31日（火） ハムチーズサンドウィッチ、マッシュポテト作り

夜中に何度か目が覚めたが、思いの外寝ることができた。朝食は、日本にいたときから頼んでおいた、トーストと目玉焼きのアメリカンスタイル。でも、後でわかったことだが、あまり品数を食べないのが普通の朝食らしい。Bill がオレンジジュースを作ってくれた。生のオレンジを半分にしてそのまま絞るので、本当にフレッシュで甘くておいしかった。

お弁当は、ハムチーズサンドウィッチとりんごを持たせてくれた。このサンドウィッチが絶品で、毎日のようにリクエストしたら、「本当にいいの？毎日同じメニューって言われるよ。」と心配されたが、本当に、おいしいチーズだった。

Colorado School of English での Placement Test を終えてから、ステラちゃんとバス停を探した。工事中でダウントウンの街中をうろうろして時間がかかってしまった。

6：00 p.m.に教会から歩いて家に到着。玄関先で Bill と Judy が待っていてくれた。この日は夕飯づくりの手伝いをした。マッシュポテトを作るというので、つぶすを手伝った。シンクが高くて、なかなか力が入らず苦労したが、うまくできた。この日も外で Dinner.メニューはローストポーク、さやいんげん（ビーンズ）、マッシュポテト、赤ワイン。食後には、持って行った酒田市のパンフレットを見ながらいろいろ話をした。内容もよくて、役に立った。



中：ボリューム満点のハムチーズサンドウィッチ

右：ローストポークを切り分ける Bill

8月1日（水）お隣さんと Dinner

やっぱり夜中に 2 度ほど目が覚めた。時差ボケなのか、なかなかゆっくり眠れないが、気にしないことにした。朝食は、オーツ麦のシリアルにフルーツを入れ、ヨーグルトと牛乳をかけたもの。日本でもシリアルは食べていたが、オーツ麦は初めて。思いの外これもおいしく、私には合っていた。この日から、ほとんど私の朝食は、このシリアルになった。

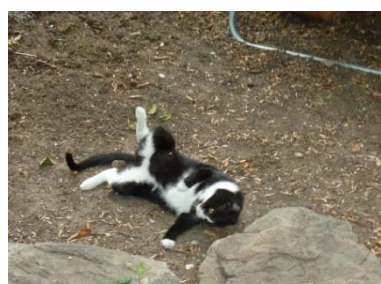
今日は、お隣さんと Dinner をした。カメラマンの Jonathon と奥さんの Viviana,地下に住んでいる Karen の 3 人と私たち 3 人の計 6 人。庭のバーベキューコンロで大きなハンバーグを焼き、好きな具をはさんで食べるオリジナルのハンバーガーだった。やっぱりワインを飲みながら、楽しく過ごした。みんながとても優しく、本当に毎日が快適。気候もいいし、言うことなし。火の強さも、具の大きさも何もかもが豪快で、また、これぞ、アメリカ！！を感じた。



豪快な火力！！溢れる肉汁が最高



みなさん、Big Smile！



ネコもご機嫌！

8月2日（木）Ice cream & Japanese Beetle & Big Pizza

3：45 p.m. 学校が終わると、いつもの様に、Bill と Judy が迎えに来てくれていた。本当に大事にしてもらっていることを感じて、ありがたかった。「箱入り娘」と周りの人から言われるほどの暖かいおもてなしに感謝。家に帰る前に、アイスクリームを食べに行くことになった。「Little Man」というお店で、デンバーでは有名な店らしい。注文する前に **tasting** ができるというので、気になる味を2～3種類食べてみた。どれもおいしかったが、16th Chocolate と honey almond の2種類を頼んだ。かなり **Big size** だったが、ぺろりといけた。とってもおいしかった。Bill はアイスクリームが大好きだと言っていた。

家に帰ると、Bill が **Japanese Beetle** を捕まえるというので手伝うことにした。花や葉っぱを食い荒らす害虫らしいが、カブトムシなら私の家にも来ることがあるし、こんなところで捕まえられるなんてラッキー！！と思っていたら、んん？なんと、正体は「こがね虫」だった。小さいからこんな名前が付いたんだなあ・・・と納得。しかも私は4匹も捕まえて、Bill に驚かれて褒められた。この日から、**Japanese Beetle Hunting** が私の日課になった。

さて、この日の **Dinner** は、ピザを食べに行くことになった。近くにおいしい店があるとのことで早速出かけたが、あいにく混んでいて、別に店に行った。2人にとっても初めての店らしく、メニュー選びで少しもめていたのがわかった。何だか陰悪なムードで少し困ったが、出てきたピザの大きさにびっくり。直径40cm位はあった。さすがアメリカ！！

残ったピザは、持ち帰ることができるので、明日の朝食にすることにした。



これでもSサイズ

8月3日（金）Horseback riding and Rocky Mt. Nat'l Park

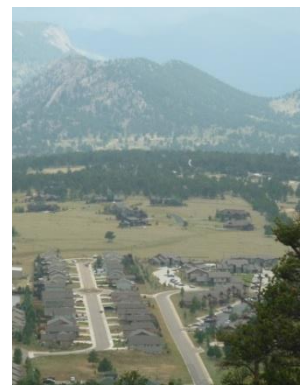
一般ツアーのみんなと合流して、乗馬体験とロッキーマウンテンナショナルパークへのドライブをした。朝の5:15集合というハードなスケジュールで、早めに目覚ましをセットしたが、夜中に何度か目を覚まし、こういうときにトラブルが起きるもので、セットした時刻に目覚ましが鳴らなかった。目が覚めたのは、4:38。4:50には出発の予定だったので、超高速で着替えて準備をした。なんとか間に合って、無事集合場所へ到着。タカさんの車で昨日のピザを食べながら、一路ナショナルパークへ！！

乗馬をするのは2回目で、とっても楽しみにしていた。私の馬は、「インフィニティー」という名前で、とてもお利口だった。山道をどんどん登って行く、結構ラフなコースだった。途中で雨が降ったり止んだりの天候だったが、1時間30分くらいして朝食のできる小屋に到着。パンケーキとソーセージを食べた。長袖のウインドブレーカーは着ているものの、山は寒くて、指が冷えてしびれて感覚がなかった。帰りは当然下りが多くて、だんだんおしりも痛くなってきたが、無事牧場へ到着。2時間ちょっとの乗馬はとっても楽しかった。

続いてロッキーマウンテンナショナルパークへと向かった。車の中でタカさんが、山にちなんだクイズを出してくれた。高校生たちは必死に考えているので、私も勉強になった。あいにくの雨で、途中の景色はあまりよく見えないのが残念だった。寒かったし、車の外へ出るのは、ちょっとした罰ゲームのような感じさえあった。しかし、時間が経つにつれて晴れ間も出てきた。天下のロッキーマウンテン。大きな山はとってもきれいで、感動した。

山を下りてお土産を少し買い、アイスクリームを食べた。これがまた、おいしかった。心配していた頭痛も全くなく、本当に楽しいドライブだった。

家に帰って、この日の Dinner は、大きなミートボール入りのパスタだった。ご飯も炊いてくれていたが、水分が少なかったようで、少しばさばさしていた。食後はアイスクリームを食べに行くことになった。前回とは違う「High Top」という店だが、最近できたばかりで、結構いけるという。Bill のおすすめ Tin top whisky pistachio nut を食べた。ウイスキーの味はほとんどしないが、ナッツがいいアクセントになっていて、とってもおいしかった。実はこの日2回目のアイスクリーム。アイスクリーム好きの Bill に驚かれた。1日2回のアイスクリームはさすがに太りそう・・・やばい。





山の寒さを吹き飛ばすくらいのきれいな景色

8月4日(土) Down Town & Sushi Bar Okinawa

デンバーに来て初めて夜中に1度も目が覚めずに朝を迎えた。この日は Free Day だったので、ゆったりと過ごすことができた。朝は、10:00過ぎに1階へ行き、朝食にチョコクロワッサンを食べた。日本より一回り大きいサイズだったが、ぺろりとたいらげてしまった。それから、昨日の乗馬のせいか、体のあちこちに痛みがあったので、Judy が背中マッサージをしてくれた。とっても気持ちがよくて、ついうとうとしてしまった。その後、ヨガも教えてもらった。背中や足、おしりに効くストレッチを中心に30分ほどゆっくり楽しんだ。軽く汗ばんだが、とても心地よかった。英語版のDVD ももらったので、日本に帰ってからやってみようと思った。

午後からダウントウンに出かけた。絵が好きな私のリクエストで、Denver Art Museum に行ったが、2020年まで移転工事が入っていて、展示品もかなり少なく、思いの外よい作品が見られなくて残念だった。

夕食は、Japanese Restaurant に行くことになった。「Okinawa Sushi」という名前のすし屋で、私がシェフと日本語で話せるだろうと楽しみにしていたが、スタッフもシェフも全員中国人だったとわかり残念がっていた。注文したのは、にぎり数種類と、ロールずし、シュウマイに天ぷら。日本のそれらとは少し見た目が違っていたが、味はなかなかだった。Bill も Judy も箸を使うことに苦戦していたので、持ち方を教えながら楽しく食べることができた。「すしは手で食べてもOK」と教えると、Judy は早速にぎりを手で食べていたが、やはり崩れてしまって、初めての人には難しいのだなあと感じた。





右：干支になぞらえた12匹の動物の頭の彫刻

左と中：Okinawa sushi 飾りつけがアメリカ風？

8月5日（日）Annual Japanese Picnic Berkeley Lake Park & Home Party

バークリーパークで、コロラド日系人会の方々との交流会があった。予定の時刻に公園に到着したが、あまりに広すぎて、みんながどこにいるかすぐには見つからなかった。公園内を車でグルグル回り、やっと見つけたが、誰も遅れたことを気にしていない様子。まだ集まっていない仲間もいるのに、心配する様子もない。何だか、考え方も大らかになってきたようで・・・到着するや否や、「花笠の練習をしますよ。先生（私のこと）は前で。」と言われた。どこで踊っても同じだけど、思い出すまで時間が必要だった。3～4回練習したらなんとかかなりそうだったが、ここで、「花笠についてのアナウンスをしてほしい」と頼まれてしまった。急だったのでびっくりしたが、年長者だから仕方がないか・・・と思い、幸さんに手伝ってもらいながら、原稿を完成させた。

踊りの練習の後、芋煮作りを開始。今回は2つの鍋を新調し、日本から持って行った。3つの鍋を使い、味噌味としょうゆ味の2種類を作った。それを2サイクルさせて、合計6鍋分の芋煮ができた。量が量だけに、味付けが難しかったが、一般ツアーのみんなとも協力して無事完成できた。結構おいしくできて、大満足。この会には、英語の研修で2ヶ月勉強しているという奈良県から来ていた中学校の先生や、以前日本でALTをしていたという男性や、東根出身なんです・・・という年配の女性など、毎年楽しみにしてくれている人たちが多く参加していて、気さくに声をかけてくれるのがうれしかった。また、コロラド在住のすみこさん（とってもパワフルな方でした）から、「酒田、遊佐が大雨で避難勧告が出ているそうだけど、大丈夫？」と聞かれた。渡米する前に広島県で大雨による被害があったばかりなので、かなり心配になった。この会が終わったら、空港で借りた携帯を使って、日本に電話することにした。

さて、いよいよ花笠音頭披露の時間が来た。Bill と Judy も見に来てくれてスマホで動画をとってくれた。踊りの紹介のアナウンスも花笠音頭も無事に終えることができた。楽しい時間だった。

家に帰って Judy に日本の大雨のことを話し、ネットのニュースで確認してもらった。幸い大きな被害はなかったようだが・・・母に電話すると、「なんかあったの？」と逆にびっくりされてしまった。みんな無事でよかった。



いも煮も花笠も
大成功！！



さて、この日は夕方から Bill と Judy の息子さん、娘さん夫婦やお孫さんたちが来て、食事をするようになっていた。芋煮会で疲れていたの、少し昼寝をしてから、夜の会に備えることにした。

3：40p.m.お孫さんたちが到着。初の顔合わせにドキドキしたが、みんな気さくでとてもいい人たちだった。大人が5人、子どもが4人、そして Bill と Judy と私の、合わせて12人でにぎやかな楽しい会になった。お孫さんたち用に持っていったお土産も好評で、喜んでくれた。(香りつきマーカーペン、和柄のヘアピンや髪留めゴム、折り紙で作ったこま) お菓子類では、ポッキーが子どもたちには人気があり、すぐになくなった。わさび味のかきピーは Bill と Luke(7歳)に好評だった。羊羹は、思いの外大人たちに大うけで、後をひく甘さだったらしい。一方で、人気があると聞いていたキットカットの抹茶味には、誰も手を出さなかった。

外のテーブルで食事をした。骨付き肉のバーベキューと煮込んだ豆や野菜、それに思い思いのお酒。とっても優雅な気分だった。デザートはやっぱりアイスクリーム。バニラとチョコのどちらがいいか聞かれ迷わず両方を選んだら「Good choice.」と Bill に言われた。



8月6日（月）日本食作り

朝食は、いつものシリアルとフルーツ。慣れたもので、自分で冷蔵庫を開け、食べたいものを準備していると、すかさず Bill がオレンジジュースを絞ってくれた。いつ飲んでも、本当に甘くておいしい 100% 生ジュース。市販されているものとは新鮮さが違う。

語学学校 3 日目、いろいろな国から来たクラスメートとの授業も楽しくて、自分から積極的に話しかけられるようになってきた。

3 : 45 p.m. 語学学校の授業が終わると、Bill の車でアジアマーケットに行った。今日は私が日本食を作ることにしたので、食材を調達に行ったのだが、メニューはまだ決めていなかった。どんな物があるのか見てから・・・と考えていた。木曜日が野菜などの入荷日だということで、品切れの野菜もあったが、肉や魚（さしみ用）もあり驚いた。加工品はほとんど何でも揃っていて、日本人も不自由しないなあと感じた。店の中をぐるぐると 3 ～ 4 周して、やっと買い物を済ませた。レジでのお支払い、35\$。結構高かった。

さて、この日のメニューは、おにぎりと味噌汁、マーボナスに野菜炒め。シンクや調理台が私の身長には少し高めで、作業がしにくかった。おにぎりを作るときには Judy を脇によび、手順を説明しながら、丸型、三角型、俵型の 3 種類を作った。「Amazing」といわれ、とってもうれしかった。この日も、外でいただいた。野菜中心だったので、白ワインも準備してもらった。2 人とも、箸で食べることに挑戦したが、なかなか難しく、それがまた、話のネタになって、楽しい時間を過ごした。結構好評で、安心した。

食事の後、風が強くなってきたので、片付けをして、キッチンに入った。すると、なんと、雹が降ってきた。「8 月なのに雹？」急いでカメラを持ち出して撮影した。話を聞くと、今年の夏もソフトボールくらいの大きさの雹が降り、車や家の屋根などに大きな被害が出たらしい。これも地球温暖化の影響・・・？



左中と上：好評だった日本食

右上：真夏に降った雹

8月7日(火) Down Town 散策

語学学校最終日。通学路になっているコンベンションセンターの Blue Bear に会えるのも今日が最後となった。Bill が近くまで車を寄せてくれて、雄大な後姿を写真に収めた。4 日間の総まとめとしての Discussion は、いつも以上に盛り上がった。自分の思いを伝えるための英語力がまだまだ足りないを実感し、もどかしさもあつたが、だからこそ、もっとがんばろうと思えたことに感謝した 4 日間だった。

夜の YIA の交流会まで時間があつたので、JoAnne と合流し、Downtown を散策することになった。あまり町に出かけていなかった私は、楽しくて楽しくてしょうがなかった。お土産物屋さんで、いろいろ物色し、お菓子屋さんではサイズの大きさに驚愕し、Hard Rock Café ではハンバーガーを食べた。(量が多いので、私はチーズケーキを頼んだ)

帰宅は、8 : 15 p.m.だったので、夕飯は食べず、2 人に今日の報告をして、部屋に上がった。



中と右：Big size のハンバーガーとチーズケーキ

左：裕香ちゃんの顔より大きいキャンディー

8月8日(水) Bookstore & Warl Mart & すしでん

午前中は、South High School の見学をし、JoAnne の車で近くの Bookstore に行った。私は、学校で使える教材がないか探したかったので、とても楽しみにしていた。かわいい絵本や図鑑、ワークブックや仕掛け絵本などたくさんあって、ワクワクした。私は、レベル別になっている読み物を 3 冊(「お手紙」の英語版とエリック・カールの「だんまりこおろぎ」の英語版を含む)と「BRAIN QUEST grade 1」というワークブックを購入した。Lunch は Bookstore の裏にあるレストランで、ハンバーガーを食べた。シニアのグループがいてかなり混んでいたもので、時間がかかったが、さすが本場のハンバーガーは肉のうまさが違うと感じた。

自然科学博物館を見た後、私のリクエストで、スーパーマーケットに行った。職場へのおみやげをゲットしたかったので、数が多く入っている物が欲しかった。Warl Mart はとっても広くて、しかも、私が欲しいと思っていたお菓子類も豊富で、とにかく興奮した。何もかもが大きくて、量が多くて、それだけですごいと思えてしまう。感動!! お土産だけでなく、自分用にも、数種類のチョコを買った。チョコ好きの私にとっては、まさに楽園。いつまでも、その場にいたいと思った。クラスの子供達に見せようと、店内の写真を撮りまくってしまった。

この日の Dinner は、すし。前回のすし屋さん、日本人シェフがいなかったことがどうしても許せない Bill と Judy は、高級な店を選んでくれた。予約を取らない店なので、並ぶこともあるというが、水曜日だったこともあり、スムーズに入ることができた。なんとか交渉し、カウンターに席を取ることに成功。確かに、日本人シェフが3人はいた。(8人中) 強面のシェフだったが、日本語で話しかけると、ニコッと微笑んで相手をしてくれた。この様子を見た Bill と Judy は大満足。私もありがたかった。最後に、シェフが、デザートサービスをしてくれた。スタッフの対応も、味も、お値段も、前回とは格段の差だった。さて、食後にアイスクリームを食べに行くことになった。前回も行った、「Little Man」。7:30 p.m.を過ぎていたが、かなりの行列。やはり人気店は違うなあと思った。今回は、注文の仕方もわかったので、1種類だけテストをして、カップで頼んだ。すしのお礼に、2人の分も私がごちそうした。Salty caramel nuts を食べたが、やっぱりおいしかった。塩味が結構きいていたが、それがくせになる感じ。日本でも食べたいなあ・・・。



上と右下：とにかく大きい、食材の数々 中下：「すしでん」の繊細なにぎり

8月9日(木) Colorado Springs & Broad moor Hotel

昨夜荷物の整理をしたが、幾分物が増えているような気がして、どこに何をどうやって詰めてきたか、不思議に思った。

朝食はいつものシリアル。量的にも私にはちょうどよい。よく噛むので、結構腹持ちもするし、日本のものより甘さ控えめがなんともうれしい。今朝も、庭にリスが来た。日本では動物園でしか見ることができないリスに、ついつい「かわいい」と言ってしまうが、アメリカでは庭の野菜や草花を食べてしまうため、害獣として扱われているという。Judy が両手を叩き、大きな音を出して追い払っていた。私は、クラスの子供達に見せたくて、すかさず、シャッターをきった。

今日は、活動最終日。JoAnne の車で高速を走り、約 2 時間かけて Colorado Springs まで出かけた。途中の景色は Denver の街中とは違い、土地が開けていて、山々がとてもきれいだっただ。広大な自然を見て、やっと、アメリカに来た！という感じがした。11:00 a.m.過ぎに、Broadmoor Hotel に到着。ここはなんと 5 つ星のホテルで、池やプール、ボーリング場やレストランなどいろいろな施設があり、まるで 1 つの町のようになっていた。数日前に降った雹の被害で、屋根や花壇がダメージを受けていたのが、なんとも痛々しかったが、内装は、さすがに豪華で、トイレには洗った手を拭くために、ペーパーではなく、ハンドタオルが 1 枚ずつ丁寧にたたんであった。とにかく素敵なホテルだった。

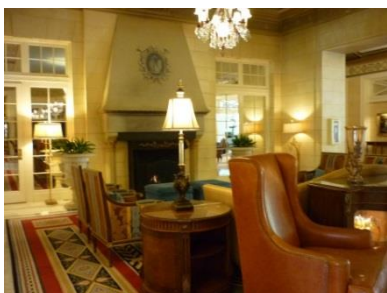
JoAnne が予約をしてくれた「Golden Bee」という併設のレストランで Lunch をいただくことにした。席に着くと、ウェイトレスさんが 1 人 1 人の服にハチのシールを投げて貼りつけてくれるサービスが面白かった。テーブルには、クラッカー類のお菓子が置いてあり、もちろん無料でいただける。私は、「Fish and Chips」と白ワインを頼んだ。魚のフライも、ポテトもおおいしかったが、やはり量がなくて全部食べきることはできなかった。

Lunch の後は、「Garden of the Gods」に行った。赤い巨大な岩がいろいろな形にせり出し、自然の壮大さを感じさせる場所だった。

帰路は高速が渋滞していて、5:00 p.m.に到着予定が、かなり遅れてしまった。途中で軽い胃痛が起きてしまって、このあと予定しているメキシカン料理が食べられるか心配になった（揚げ物の油のせいかな・・・）が、幸い、渋滞で時間がかかった分、腹痛も落ち着いてくれた。6:15 p.m.教会から歩いて家に帰ると、Bill と Judy が玄関で待っていてくれた。胃の調子が悪くなったが、回復したことを伝え、外食をどうするか少し悩んだが、せっかくの機会なので、出かけることにした。

メキシカンレストランに到着。風通しのよい外の席に座り、何を頼もうかメニューを見ていたが、よく分からなかった。すると、Bill と Judy が相談して、私のために、辛さがマイルドな物を頼んでくれた。初めて食べるメキシカン料理にわくわくしたが、まず、チップスにつけるディップがなんとも辛い。すでにここで Give up.口の中がかっかとしてきた。頼んでくれた料理は、たっぷりのチーズをグリーンペッパーで包み、豆のソースをたっぷりかけたカレーのような見た目だった。一口食べると・・・やっぱり辛かった。でも、チーズがとってもおいしくて、食べているうちに、辛さも和らいで、残してしまったが（量が多くて）最後までおいしく食べられた。デザートは、フランというプリン。プリンよりはザラザラ感があつたが、おいしかった。胃の調子も、すっかり回復していた。

8:00 p.m.過ぎ、家に着くと庭のロッキングチェアで少し話をした。明日はいよいよ帰国の日。お互い名残惜しさを感じながら、部屋に上がった。荷物のパッキングを済ませ、お礼の手紙の確認をして、10:30 p.m.就寝。13 日間は長いと思っていたけど、終わってみれば、やっぱりあつという間の日々だった。



これぞ、5つ星ホテル！！



ボリューム満点



圧巻！！ Garden of the Gods.



マイルドでも十分に辛かった



8月10日（金）日本へ

8：00 a.m.いつものシリアルとオレンジジュースで朝食を済ませた。やっぱりリスもやってきた。全ての荷物をスーツケースに詰め込み、いよいよ出発の時刻になった。

9：00 a.m.確実に重くなっているスーツケースを Bill が車に運んでくれた。お礼の手紙を Judy に渡したら、Judy も手紙をくれた。思わずジーンときてしまっ、ハグして泣いてしまった。道路が思いの外すいていたので、9：40 a.m.には空港に到着した。

10：00 a.m.過ぎ、裕香ちゃん、幸さん、JoAnne が揃ったので、チェックインした。荷物は50ポンド。23kgギリギリでかなり重くなっていた。セキュリティーの所で2人ともう1度ハグした。やっぱり涙が出た。ずっと見送ってくれて、私もずっと手を振っていた。最後の最後まで本当によくしてもらって、有難かった。



庭に来ていたりス お気に入りの朝食（シリアル） 滞在中初の貴重な3ショット

帰りは幸さんがアメリカに残るということで、裕香ちゃんと2人での帰国となった。多少心配はあったが、飛行機に乗ってしまえば、後は日本に着くので、何とかなるだろう。それに、幸さんと JoAnne が搭乗口まで来てくれたので、安心できた。

12:00 p.m. 搭乗、一路成田へ。帰りは11時間の長旅となるが、私も裕香ちゃんも、帰りたくない思いでいっぱいだった。夢のようなコロラドでの毎日。日本に帰れば、また、現実が待っている・・・それだけ充実していた13日間だった。昼間だったので、眠気はほとんどなく、映画を3～4本見た。イヤホンで耳が痛くなってきたので、仕方なく目をつむっていたら、思いの外時間が過ぎていた。

日本時間8月11日（土）3:20 p.m. 成田到着。飛行機を降りた途端に感じた、むっとする暑さに、改めてデンバーの気候の快適さを痛感した。私の髪も、湿気を帯びて広がり始めた。お盆休みに入った空港は、たくさんの人でごった返していて、スーツケースを持って移動するのは、なかなか大変だった。借りていた携帯と、裕香ちゃんのWiFiを返して、リムジンバスで羽田へ向かった。

羽田でANAにチェックインしてから、帰国後初の食事となった。出発前から、「おいしいものを食べようね!」と裕香ちゃんと楽しみにしていたのだが、いろいろ迷った挙句、2人で「ミニ天井」を食べた。店内が暑くて、汗だくだったが、久しぶりにおいしいお米を食べた。搭乗までは時間があつたので、コロラドでの思い出や、これからの予定など、2人でいろいろ話した。

8:15 p.m. 庄内へ向けて出発。やはり疲れていたのか、ホッとしたのか、すぐに寝てしまい、あっという間に庄内空港へ到着。お迎えに来てくれていた国際村の方に法被を渡し、裕香ちゃんのお母さんに挨拶をして、やっと帰宅。長～い1日だった今日、あっという間だった13日間のコロラド生活をふり返りながら、無事帰国。

【最後に】

27年ぶりのアメリカ行きに、ワクワクドキドキの日々が過ぎた。初めてのホームステイ、心配していた頭痛もなし。頭痛どころか日本にいた時には頻繁にあった、肩こり、首こり、目の疲れなど全く感じなかった。ストレスからの解放!? 湿気がないってこんなに快適!? アメリカの空気は私にあっている!? とにかく毎日が楽しく過ぎた。

今回の「英語教育を学ぶスタディーツアー」では、実際に授業に参加することで、教え

られる側に立ち、どのような方法だと理解しやすいか、どのようにアプローチすれば定着しやすいかなど、たくさんの方の方法を体験し、学ぶことができた。とても有意義な時間だった。しかし、このツアーで私が最もよかったと思えたことは、何だろう、「人と人とのつながり、人との出会い」の大切さを感じたということである。教育ツアーの絵葉さん、裕香ちゃん、一般ツアーのみんな、ホストファミリーの Bill と Judy、そして、その Family、お隣の Jonathan, Viviana, Karen、Colorado school of English のクラスメートと Robyn 先生、芋煮会で会った方々、国際村の幸さん、綾子さん、現地コーディネーターのタカさんに JoAnne・・・本当にたくさんの方たちと知り合えたことがうれしくてたまらなかった。誰もがとても親切で優しくて、常に感謝の気持ちを持つことができた。本当にありがたいと思える出会いがたくさんあった。

日本に帰ってから私は、この素晴らしい体験を、受け持っている2つの学校の子ども達に伝えたいと思い、アメリカクイズを作ったり、写真やお金（ドル、セント）を準備したりして授業を行った。どの子も興味を持って、私の話を聞いてくれた。自分もアメリカに行ってみようと思ったという子もたくさんいて、本当にうれしかった。これで、私がこのツアーに参加しようと思った理由の1つは達成でき、英語専科としての役割も、少し果たせたように思えた。

そして、願わくば、近い将来、「先生のアメリカでの話を聞いて、私もこのツアーに参加することにしました。」と報告してくれる教え子が、1人でも出てくれたら、最高に幸せだと思った。

このような充実した内容の、素敵なツアーに参加できたことを、本当にうれしく思っている。自分の英語力アップのために、これからも努力し続けることを心に決めたツアーになったことに感謝。



Broadmoor Hotel での1枚 ～湖をバックに～

Colorado Tour 報告書

日向 絵菜

私は今回、2回目のColorado Study Tour参加になります。以前から海外の教育や文化に興味があり、今現在、文部科学省の教員海外派遣制度により、日本人学校での勤務をしています。前回のTourでは、日本の教育や文化とColoradoの教育や文化を比べ、たくさんの学びを得ることができました。また、私は言語面での自信はないのですが、ホストファミリーの皆さんや、現地で出会う方々との関わりから、言葉がうまく伝わらなくても繋がるということを感じました。この経験が忘れられず、再び参加させていただきたいと思いました。

また、現在私が勤務する日本人学校では、海外で日本の教育をしていることもあり、様々な環境・文化の中で子どもたちは生活しています。その子たちへの指導や、日本に帰ってからの国際教育に今回のTourでの学びを生かすことができると考えています。

7月30日 月曜日（1日目）

楽しみでドキドキして眠れず、せっかくだからと予定より早く家を出発。台湾桃園空港ではサンフランシスコ行きの方がかなりいたようで、受付では思った以上の時間がかかる。1年ちょっとの台湾生活で、とっさに出る言葉が中国語になってきた今日この頃、勉強不足の英語が通用するのか不安な気持ちもあったが、それ以上に以前あった方々に会えることが嬉しかった。文法がめちゃめちゃでも、単語だけでもまずは進んでコミュニケーションを取ること、経験を通して、どのような方法が英語学習に役立つのかを得てくることを今回の目標と決めた。

サンフランシスコでの乗り継ぎで時間がなく猛ダッシュしたり、デンバーでは到着出口が日本と違うことから迷子になってみたりと、早くもトラブルがいろいろあったのだが、無事日本からのみなさんと合流できた。よかった。その後、コンダクターの村治孝浩さんの家で他のホストファミリーの方々との交流。どの方も素敵な方々で楽しかった。私は幸さんと一緒に、久しぶりに会ったGregに送っていただき、Gregの家からはホストマザーのNaomiに送ってもらってFlint家へ。3年ぶりだったのだけれど全然変わらないNaomiにChris、大人っぽくなったMaya、Stafie、Evan、大切なペットのRulu、BrunoにChena。そんなFlint家のみなさんに迎えられ、本当にそれだけで幸せ。それなのに部屋にはステキなギフトとメッセージが… 2週間沢山交流できたらいいなと思う。



7月31日 火曜日（2日目）

時差ボケはないようだけれど、台湾は今夜なんだろうと思うと不思議な感じ。今日は朝早くから Stafie の運転する車で Greg 宅へ。その後送ってもらってプレスクールまで来た。プレスクールの場所は、以前ジョアンのキャンプに行ったのと同じ場所だった。どうやらこの3年でプレスクールの運営が始まったらしい。私は手遊び歌と折り紙を体験してほしいなと思ったのだが、どうやら次のプログラムが計画されていたようで、子どもたちは水着に着替えて準備万端。折り紙に絞って体験してもらうことにした。クラスの中には2歳から5歳までの子がいて、聞いてみると全員が折り紙は初めてだったらしい。簡単と思って計画していた「かぶと」も、難しかった様子。発達段階的に作るのが難しかった子もいて、途中申し訳ないなあと思ったのだが、みんな最後まで頑張って作っていて素晴らしいなと思った。中には、再度作ってみた子もいて、興味を持ってもらえたようで嬉しかった。

プレスクールは、日本の保育園と幼稚園を混ぜたような形だと感じた。自由な遊び時間があって、おやつやごはん、お昼寝の時間があって、クラスによっては教科的な学びを取り入れているところもあった。私が折り紙をしたクラスは、風船で作った丸い氷に様々な色水をつけて色の組み合わせを楽しんだり（図工のような活動）、3つある氷のうち2つに塩をかけ、砂時計で時間を測りながら、時間ごとの氷の変化を観察したり（理科のような活動）していた。後でクラス担任の先生に話を聞いたところ、遊びを通して子どもたちに面白さやなるほどなという学びを感じさせたいとのこと。これは、生活科の学習と通ずるものがあるなと納得した。

プレスクールに参加したあと、お昼の時間から JoAnne のキャンプに参加する。お昼は公園で、近くの店で買ったボールというトルティーヤの中身のようなメキシカンフードをいただく。その後、最近までソフトボール部だったという裕香ちゃんと一緒に、公園の片隅で遊んでいる子どもたちの野球に混ぜてもらう。裕香ちゃんの打ちっぷりがかっこよかったし、野球がしたいからといって知らない子たちに入っていくところが素敵だなあと思う。

キャンプでは、由香さんが子どもたちに英語で紙芝居を披露した後（ペラペラですごい！）、由香さんと裕香ちゃんと3人で、参加者の名前を習字で書いてあげることになった。名前をその場で聞いて、その字に当てはまる漢字を考えて書くのだけどそれがとても難しい！特に「van」とか「jyo」とか、日本語にはない発音の名前をどうにかこうにか「絆」や「如」とかできるだけ素敵な意味を持つ漢字で書く。子どもたちは真剣に書いている様子を見ていて、出来上がると嬉しそうに「thank you!」ともらっていく。冷や汗はかいたが、とても嬉しかった。キャンプでは、3年前参加したときに「星」と書いてあげた Stella ちゃんと再会した。今は16歳とのことだけど、背も高くとても綺麗なお姉さんになっていた。驚いたのは日本語がペラペラで、聞くと、昨年10ヶ月間鶴岡東高校に通っていたとのこと。庄内弁混じりの日本語がいいなと思った。Stella ちゃんは、裕香ちゃんのホストファミリーの Cole さんと一緒に、私たちに school の案内をしてくれた。バスに乗って明日から通う、Colorado School of English へ。そこではレベル分けテストをしたのだが、も

うすでによくわからなくて明日からの学校生活が少し不安になった。帰りはNaomi がBluno と China と一緒に Alejandra の家まで迎えに来てくれた。帰りの途中、前も行ったことのある Cleak と呼ばれる小川へ。Bluno は気持ちよさそうに泳いでいて、私は China の紐を持たせてもらった。彼女はいろいろなものに興味があるようで、14 歳（人間にすると 72 歳）のおばあさん犬なのに力強く私を引っ張って行く。連れまわされている私を見て、Naomi は大爆笑だった。

家に帰ると、どうやら今日の夕ご飯は日本食のお店に行くらしい。昨日の車の中で、日本食の話で盛り上がり、近くにあるなら行ってみたいと言ったことを叶えてくれるらしい。ちょっと遠いけれど、以前行ったことがある美味しいところと、つい 3 週間前にできて美味しいかわからない近くのお店ではどちらがいい？と聞かれたので、新しい方としてみる。近くと言っていたけれど、車を 20 分ほど走らせて到着。20 分は近いに入るんだと思う。お店は寿司もラーメンも食べることができるお店。なんとなく日本風だけど、いろいろツッコミどころのある楽しいお店だった。鮪、鯖とならんでなぜか鱈とあるし、寿司盛り合わせが Dragon Ball とか。食事はとても美味しかったし、なんと山形の日本酒（しかも生酒！）初孫がメニューにある。ぜひ飲んで欲しいと注文し（値段は日本の数倍…）、説明しながら久しぶりの日本酒をいただく。Naomi も Chris も喜んでくれたようで良かった。



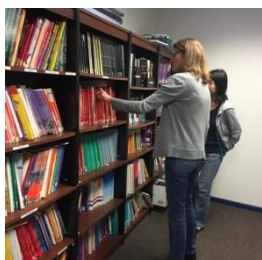
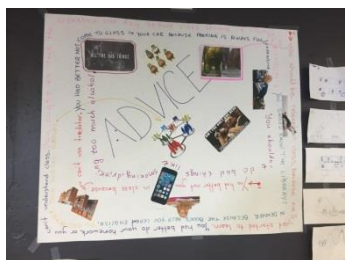
8 月 1 日 水曜日（3 日目）

昨日の日本酒による Hang Over でかなりの寝坊。Chris はもう起きていて、今回もお茶はどう？なにか食べる？と優しく聞いてくれた。Alejandra の家までは Chris が送ってくれた。寡黙だけど気を使ってくれているのがわかる。Alejandra の家からは Greg が私と幸さんを送迎してくれた。

学校ではいきなりの授業で少し戸惑う。どうやら語学学校のように、私たち4人だけではなくて、既にあるクラスに1週間だけお邪魔する感じ。私は由香さんと同じクラスで、転校生のようにドキドキしたけれど、クラスメイトたちが声をかけてくれて、説明をしてくれたのでよくわかった。どの授業も先生の説明だけでなく、生徒同士で話し合う場があったのは楽しかった。驚いたことは、先生からの声かけに対して進んで反応を返す生徒が多かったこと。日本だと消極的な人が多い気がするけれど、このスクールではわからなくてもとりあえず言うてみる、自分から進んでというのは素敵だなと思った。

授業は全部で3時間、説明も英語、学習内容も英語でかなり頭が混乱した。授業後、先生と一緒に、英語学習についての話し合いをする。今回の学習した様子と、日本の学校での様子について話をする。私の場合、日本の教育と日本人学校での教育、今回の内容の3つを比べることができたのでとても面白かった。あまり思ったことをうまく伝えることはできなかったのだけれど（語彙力や素早く考えて組み立てて伝えることが私の課題だと思う。）、先生は待つて聞いてくれたので安心して考えることができた。このような指導の方法をしたいと思ったし、物品の面でも、沢山の指導書や、巨大 post it が羨ましいなと思った。

終わりの時間は3:30で、NaomiもChrisも忙しい時間。幸さんはAlejandraたちと一緒に近くでご飯をするらしい。帰りが心配だったのだが、Mayaの友達のZoeが迎えに来てくれた。なんと彼女は妊娠していて、予定日は9月5日だそう。お腹がとても大きくなっていた。ほとんど1ヶ月前だけれど、彼女の仕事（Uberの運転手）は2週間前まで続けるらしい。冗談で、「タクシー代払った方がいい？」と聞いたところ、彼女は笑っていた。帰る途中、もし夜の予定がなかったら、トリビアというゲームをしないかと誘われる。ゲームセンターにでも行くのかと思ったところ、実際はパブのようなところだった。ただ、どうやら故障中のように、ZoeやMaya、Patrickたちと一緒にトランプゲームをする。初めてのゲームだったのだが楽しかった。ダウトとページワンを足したようなゲームで、またやってみよう。



8月2日 木曜日（4日目）

授業2日目。昨日よりも授業の雰囲気慣れ、とりあえず色々話してみようと思う。フリースタイルやグループトークの時間にはせっかくなのでいろいろ話してみた。相手がどんな言語を使っている、名前や出身、どんなことが好きなのかは話しかける良いきっかけに

なった。そして、少しでもその国のことで知っていることがあれば尋ねてみる。やはりその国の人は自国に誇りを持っているらしく、自慢気に色々なことを教えてくれた。トルコはカッパドキアが有名だったり、チュニジアはサッカー大国かと思いきや、ハンドボールが一番有名だとのことだったり。一番驚いたのは、アラブの方々にとって、ラクダはペットではなく共に働く仲間で、時にはその肉を食べることもあるとのこと（味は豚肉と変わらないらしい）。本だけではわからないことだらけである。とても面白かった。また、英語を英語で教えるということがとても興味深かった。言語は違うけれど、動きで見せたり、イラストで見せたり、別の言葉に置き換えてみたり、語句を使った例文を示してみたり…。そんな教え方をしているところが日本語と同じだと感じた。

今日はお迎えがなかなか来なくて、Alejandola のお家で待たせてもらう。Greg と Nick と一緒に Loveletter という CardGame をしたのだが（こちらの人は本当にゲームが好きみたい。）とても楽しかった。ルールを理解してきて、勝てると思ったのに Greg に負けたのはホント悔しかった。

Evan に迎えに来てもらって家に帰ると、Maya のオイル交換がちょうど終わったところだった。なんでも自分たちでやるところがえらい。私は冬タイヤさえも満足に交換できない。American のなんでも自分たちでやるぞというところが素晴らしいと思う。さすが開拓者精神！

Chris のご飯を待つ間、お散歩に行く。今日は家の近くの湖へ。1 周するとちょうど日が沈んでいい感じ。相変わらず Bluno は Bunny を探している。私は Chena の係に慣れてきたが、急に走り出されると引っ張られて行ってしまう。力強い。

帰ると Chris がタコスを作ってくれていて、みんなでタコスパーティをする。次女の Stafie は友だちの Adri と一緒に仕事だったらしく、Adri も参加していた。とても大人びているのだけどまだ 20 歳になったばかりとのこと。日本では 20 歳は一つの区切りかと思ったので（いくつかのものは 18 歳からに改正したけれど）、20 歳にしかない特別なことはないかを聞いてみる。すると、アメリカでは 20 歳ではなく、21 歳を盛大に祝うらしい。その違いも面白いと思う。ちなみにアメリカでは 15 歳から両親が乗っていれば運転が可能になり、16 歳からは一人でも OK。17 歳から大人向け映画が許可されて、18 歳から選挙権を得て、煙草を吸えるようになるらしい。でもお酒は 21 歳にならないとダメとのこと。どうしてなのだろう。



8月3日 金曜日（5日目）

授業はお休みだったので、朝はいつもよりゆっくり。なんと Evan が朝ごはんはにワッフルを作ってくれていた。美味しい…。今日はみんないつも通り仕事やそれぞれの予定があるようだった。私は前回のツアーでお世話になった Jan と会うことになった。Jan は今隣の Nebraska に住んでいて、今日と、日曜日の日本人会ピクニックのためにわざわざ時間を作って会いに来てくれた。ありがたいことだ。「何かしたいことや行きたい場所はない？」と聞かれたが、Jan に会えたことがまず嬉しい。でもせっかくなので、「以前連れて行ってもらった、先生用のテキストが置いてある本屋さんに行きたい！」とお願いすると、「もちろん。今日は全部 Ena の言う通りに。」と言ってくれた。途中、お勧めだというアジアンマーケットに寄り、インディアンレストランでランチを食べ、そのあと本屋に向かう。本屋には、こちらの先生が使う教材だったり、子ども向けの本が豊富にあった。どんなものが良いのかわからなかったもので、店員さんに聞いてみると、とても丁寧に教えてくれた。初めて言語を学ぶ子どもたちには、視覚や聴覚、触覚などの五感を使った活動が良いらしい。それは日本語や、他の言語でも同じだと感じた。教材は色々あったが、その中から、ボタンを押すと物の名前の音が出てくる本と、一部の触り心地が違う（例えば cow なら、牛の毛皮のような触り心地になっている）単語カードのシリーズを購入。見本しかなかったものは「それでいいからほしいです。」とお願いしたところ、半額で売ってくれた。どうせ使ったら汚くなっちゃうから別にいいのにと thought けれど、そういうところは律儀なんだなあと考えた。

本場の McDonald's にも行ってみた。台湾でもたまに行くのだが、味に違いがあるのか気になった&そこまでゆっくりご飯をとる時間がなさそうだったので、行きたいと言ってみる。正直味の違いはわからなかったのだけれど、面白いものを3つ見つけた。1つ目。なぜか店内に子ども向けアスレチックやゲームがある。2つ目。店内にタッチパネルがあって、自分で注文できる。3つ目。塩味の濃さや、野菜をカスタマイズして注文できる。Fast food 店なのに、味にこだわってみたり、時間をゆっくり過ごしてみたりとなんだか面白かった。



8月4日 土曜日 (6日目)

土曜日はホストファミリーDay。ただ、昨日も遅くまで起きていたのでみんな起きてこない。9時に起きてしまって、寝坊かと思ったのにリビングには誰もいなかった。少しすると Naomi が起きて来た。「この家族は Night owls (前に学校で聞いて覚えた単語。夜更かしらしい。) なの?」と聞くと、すごく笑っていた。暇だったので、新聞を見せてもらう。テレビ欄の配置だったり、記事の順番だったり日本と違って面白。土曜日の新聞と日曜日の新聞は少し豪華で、土曜日版にはクロスワードがついているとのこと。見せてもらうと、クロスワードだけでなく、SUDOKU やチェスなど、1 ページ丸々ゲームだった。SUDOKU もそうだし、その中にあった KENKEN というゲームも日本発のゲームでちょっと嬉しかった。

少しずつみんなが起きて来て、Stafie とその友達と Adri 一緒にまた McDonald 's に行く。昨日の話をしたところ、家の近くの店もいろいろ面白いのだと教えてくれたからだ。行ってみるとやはりアスレチックにタッチパネル。アスレチックは昨日より大きい気がする。朝早くから多くのお客さんがいた。Stafie にご馳走してもらって、コーヒーシェイクをいただく。日本の Starbucks くらいホイップたくさんで甘かったけど美味しかった。



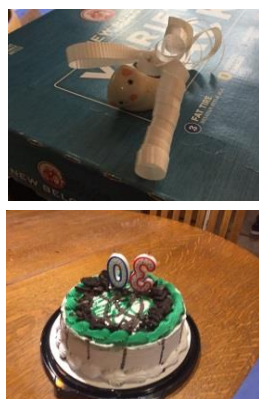
家に戻って 11 時頃。これからご飯を食べてから Brainard Lake の周りを散歩するとのこと。Chris の車に Naomi と私と Bluno、Chena が乗り、Stafie の車に Maya と Adri、途中から Zoe が加わって 2 台で Park に向かう。Rulu は歩くのが大変だからお家でお留守番。ちょっと寂しそうだった。

Park に着くと、珍しく天気が悪くなって来て、肌寒いくらいだった。少し歩くと晴れてきて、絶好のお散歩日和だった。ただ、散歩と言う割にはかなりハードな道だったし、道すらないところを通るところが、さすがと思った。草をかき分け進み、丸太橋を渡りと、なかなかサバイバルだった。一緒に最後までついて来た妊婦の Zoe がすごかった。元気だ...

家に帰ると、どうやら今日の夜は私の誕生会をしてくれるそう (先週誕生日だった。) ただ、その準備がまだ終わっていないくて、これからその準備をするとのこと。一応秘密とのことだが、既に全部聞いてしまっている。ちょっと空気を読んで、「宿題が多いから自分の部屋に戻ってやっているね。」という「それがいい。」とみんな言っていたのが面白かった。

Dinner には Maya の友達のパトリック、それから近くに住んでいるのだと言う、Ty と Sandy もご馳走を持って来てくれた。夕ご飯は Chris が作ったご飯と Sandy 作のサラダとフルーツだった。ご飯の後、Maya 作の Birthday crown をつけてもらい、Birthday song を歌ってもらって candle の火を吹き消した。びっくりしたのは、cake は ice cream cake を食べる

ところが多いということと、この crown は普通は小さい子がつけるらしいこと。なんと、ちっちゃい子扱いされてしまった。でもみんな楽しそうだったし、私も嬉しかった。cakeを食べた後、Card（日本で言うところの trump）で遊ぶ。前バーで遊んだ時にやったもので、ルールがわかるようになってきて嬉しかった。



8月5日 日曜日（7日目）

日本人会のピクニックがあったので、Patrick と BikeRide に行くと言う Maya に送ってもらう。公園は広くてかなり行くのに迷ってしまった。私が到着したときには既に子どもたちグループと由香さんは花笠練習をしていた。花笠練習に合流し、その後、芋煮会作を行う。子どもたちは話しながらも頑張っていた。はじめにあった時よりも生き生きした様子。聞いてみると、ホストファミリーと一生懸命関わっているらしい。日本料理を作ったり、ジムに行ったり、折り紙をおしえてあげたり…同じ活動を通して思いを伝えたり、文化を教えたり学んだりとても素敵だなと思う。

芋煮会にはコロラドに住む日本人の方や、日本に由来のある方々がいらっしやって、国際事情や住んでいる方の思いについてお聞きでき、楽しかった。Jan も来てくれて、話をした。どうやら明日の朝には車で半日かけて Nebraska に戻るらしい。会いに来てくれたこと本当に嬉しかった。戻ってから SkypeLesson を再開することを約束してお別れする。住んでいる場所は遠いけれど、また話ができる手段があるのは幸せなことだ。

Stafie と Evan は花笠を見てくれた。Maya と Patrick は残念ながら間に合わなかったけれど、作った芋煮を食べておいしいと言ってくれた。自分の住んでいる場所の文化を他の国の人に知ってもらったり認めてもらうことはとても嬉しいことなのだと感じた。ただ、一方で、詳しく説明できないことが悔やまれる… 言葉や文法の不足という面もあるのだが、文化が違う相手に対して、相手が知っていることを例に使いながら説明する、という力が必要だなと感じた。そのためには私自身も広い知識を持っていることが大切なんだと思った。

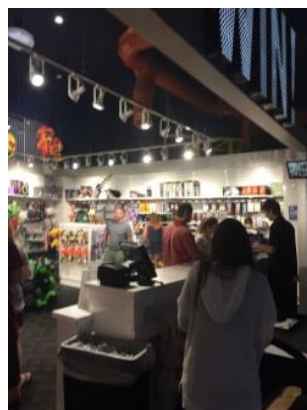
家に帰ってから Stafie と Evan が近くのゲームセンターに連れて行ってくれた。Chris と Naomi は、新しい Office に置く laptop（ノートパソコンのことらしい）を買いに行くそうで忙しいとのこと。これで遊んでおいでとお金を渡す感じがなんだか微笑ましい。以前連れて行ってもらった、温泉街にあるようなゲームセンターをイメージしていたのだが、今回のところはなにもかもが大きくて、ゲームセンターだけでなくバーがあったりレストランがあったりという複合娯楽施設だった。また、1つ1つのアーケードゲームをクリアするとその成績によってチケットがもらえた。このチケットを集めると、施設の一角にある交換所で好きなものと交換できるらしい。ゲームセンターとパチンコを足したようなシステムなのかなと思った（パチンコしたことないけど。）Evan がチケットをくれたので、私はキャンディーを選んでもらうことにした。ケースが可愛い。

家に戻ると Maya がなにかをしている。TieDye というらしい。やるか聞かれて、よくわからなかったのだが、「やってみる。」と言うと教えてくれた。どうやら絞り染のようなものらしい。Greatful Dead というバンドのものが有名で、最近流行っているとのこと。確かに街で見かけた。作り方は意外と簡単で、ねじりながら T シャツを輪ゴムで止め、その間にインクを染み込ませるのだとのこと。Maya は先週まで子どもたち対象の SummerCamp の手伝いをしていて、そのあまりをもらってきたのだそう。先生が夏休み中の子どもたちにいろいろな活動を提供するというのはいいなと思う。日本でいう実験教室のようなものかな。ただ、その働いた分のお金は出るらしい。良いシステムだ。今日作った分は1日置いて洗濯して完成とのこと。楽しみ。

帰ってしばらく遊んで7時。しかし、今日はChrisも忙しいらしく、夕ご飯を準備する気配が見られない。どうやら来週家の改装をするらしく、床のカーペットを全部剥がして板に変えるのだそう。こうやってやるのだと試しに見せてくれた。ご飯だけでなく家まで作る。Chris はなんて素敵なお父さんなんだろう。

いつもご飯を作ってもらってばかりだし、お腹も空いたし、「今日の夕ご飯つくってもい

いかな。」と聞いてみる。すると、みんな「もちろん。」と言ってくれた。ちょっと面白い。Naomi がハンバーグが食べたいというので、ハンバーグと、簡単にできそうだからチャーハン (Frid Rice というらしい。炒めてるのに不思議。) とサラダも作ることにした。「じゃあ買い物に行ってくるね。」と Maya がいい、買い物へ。てっきりありもので作ると思っていたので驚いた。材料を買い込んで8時。私が野菜を刻んだり玉ねぎを炒めたりするのを Maya も Stafie も真剣に見ている。ここでの料理は丸ごとグリルが多いから、行程が多い料理は珍しいのかなと思った。「ちょっと手伝ってもらえないかな。」とお願いすると、Maya はハンバーグ作りを、Stafie と Adri はサラダ作りを手伝ってくれた。大勢で調理するのは調理実習みたいで楽しい。結局量が量なので、完成したのは9時を過ぎてしまった。でもみんな美味しいと食べてくれたので嬉しかった。食後は今日も Card。今日も勝てない...



8月6日 月曜日（8日目）

学校3日目。朝ごはんを取る時間が無かったので、学校に行く途中セブンイレブンに寄って、アップルパイを買ってみる。美味しい。前の授業でアップルパイは家庭の味と聞いていたので、こちらのアップルパイを食べることができてよかった。

授業ではクラスの人との入れ替わりが激しく、IceBrakeの時は初対面の方も多くいる。緊張するけれど、とりあえず名前と出身を聞いてみようと思う。行ったことのない国の方と話をするとなんだかワクワクする。それぞれの国にそれぞれの文化があってとても勉強になる。感じたのは、どの国の人も自分の国はこういうものが有名だと紹介できるということ。English Skillもそうだけれど、もっと自国の文化を知る必要があるなと気づかされる。それも、相手に伝わるように。それができなくてとてももどかしかったのだが、どの人も時間をかけてゆっくり聞いてくれたり、「こういうこと？」と確認してくれたりした。それが嬉しかった。

学校の後、幸さんと16thストリートをブラブラしてみる。ラーメン屋さんと日本食屋さんを見つけ、ちょっと嬉しくなる。3年前改修していたUnionStationはきれいに完成していた。中の配置は記憶とそんなに変わってなくてなんだか懐かしかった。駅の近くのStadiumで、野球の試合があるらしく、通りは紫色のユニフォームの人でいっぱいだった。帰ってChrisにそのことを話すと、詳しく説明してくれた。でもChrisはFootball一筋らしい。来週BroncosのPreseasonが始まるらしく、ウキウキした様子だった。

帰るとMayaがキッシュを作ってくれていた。中身は冷蔵庫にあったものをいろいろ入れたらしい。昨日、料理をしたときに、私は冷蔵庫にあるもので作る「ありもの料理」が得意だと話をしたので覚えていたらしく、「私もあるものを全部入れて作った。」と自慢げだった。味はとても美味しくて、明日のLunchにもらっていいかと聞いたら喜んで



8月7日 火曜日（9日目）

本日授業最終日。4日間という短い間だったけど、Robynをはじめとした先生方やクラスの人たちは暖かく受け入れてくれた。どんな人でも文化でも受け入れる寛容さをこの国ではとても感じる場面が多い。違いは多々あるけれど、どれも良しとする心構え、私はできているだろうか。言葉は流暢に通じないけれど相手を認め、挨拶をしたりほほえみかけたりそんなことの大切さを感じた。毎回の授業の後、私たちとRobynで教育について、この学校での授業について話し合いをしたこともとてもためになった。これまで当たり前と思

っていたことがそれだけではないこと、変わっていく世の中で、自分は、また自分が受け持つ子どもたちはどんなことが求められていくのか考えていかなければと思った。様々な世界の人と関わることで、また違った視点を得ることができた。

授業が終わって JoAnne が迎えに来てくれた。先週までの Sewing Camp が終わり、今週は私たちのプログラム、本当に大変な中でいろいろと助けてくれる。ありがたいことである。6時から子どもたちと会う集まりがあったので、それまで 16th ストリートをブラブラする。HardRockCafe で夕ご飯を食べたのだが、何もかもが Rock で最高だった。裕香ちゃんが素敵なシャツを買っていて可愛かった。似合う。

ご飯の後 church の 2 階で、子どもたちツアーと合流し、現地の子どもたちと交流する。この 6 月に日本に行った子と、来年以降日本に行くために勉強を頑張っている子たちらしい。挨拶や質問をしたり、協力して福笑いをして遊んだ。英語を勉強している子には英語で、日本語を勉強している子には日本語でヒントをあげるというのが良い活動だと思った。わからなければ「How do you say English?」「日本語でなんと言いますか?」と交流しているのもいいなと思った。最後に日本から来たみんなで「旅立ちの日に」を合唱し、お返しに YoungMan のダンスを見せてもらって一緒に踊った。子どもたちのツアーは明日帰国とのことで、一緒に活動は少なかったのだが、会うたびあれが楽しかったと教えてくれる子どもたちの姿を見ているのはとても楽しかった。若い頃にこういう活動に参加することで、これからの世界もぐんと広がって行くのだと思う。これからはこうしたいと将来を語る子どもたちを見て、私も頑張ろうと思った。



8 月 8 日 水曜日 (10 日目)

今日の午前中は South High School 見学。普段は一般の人は入ることができないから、今回のツアーは本当にありがたかった。Summer Holiday 中だから、生徒はいないかと思いきや、オリエンテーションが開かれていたようで、もうすぐ入学する子たちがたくさん集まっていた。本当にこの子たちは HighSchool に入学するのだろうかと思うくらい大人っぽく、そして大きい子たちだった。校内は 3 人の女の子が案内してくれた。1 人は生徒会の子で、あとの 2 人はその友だちとのことだった。校内を回りながら質問にも答えてくれた。説明

の仕方が高校生とは思えないくらい上手で、普段から話すことに慣れている様子だった。日本の教育はどちらかというと知識習得など、input 側に重きを置いてきたように感じる。指導要領の改定でも求められている伝える力、output 側も大切なんだと感じる。やはり授業内での発言機会が多いからだろうか。とても考えさせられた。

South High School はこの辺りの学校でも珍しく、校内に School Museum があるらしく、見せてもらった。それにしても見た目もお城のようで、何から何まで大きい。時計台まである。ただ、裕香ちゃんの hostfamily の Cole によると、自分の学校も似たような形だし、むしろもっと大きいとのこと。さすが United States、何もかもが大きい…。

見学後は Cole の学校の向かいにある本屋に連れて行ってもらった。本屋の向かいには CD ショップもあった。裕香ちゃんは Cole に選んでもらって、またも T シャツを買っていた。The Beatles の T シャツ、素敵だった。由香さんは英語の教材を買っていた。日本では英語の授業を専門に持っているとのこと。かっこいい。今の学校には専科の先生がいるため、私は授業を持つことができていないので少し羨ましい。

買い物の後は、Denver Museum of Nature & Science へ。以前来た時には時間がなくていくつかの展示しか見るができなかったもので、時間があって嬉しかった。行く前に、Chris が、コロラドで見つかった恐竜がいると教えてくれたので、そこを中心に見ることにした。Colorado は西側には Rocky Mountain、東側には Great Plains があり、道路を作ったり、家を建てたりするために掘ると、ゴロゴロと化石や鉱石が見つかるとのこと。今は Summer Season で、子どもたち向けのプログラムも多く行われ、かなり混み合っていた。実際の化石掘りの様子は大人の私にとってもかなり興味深かった。小さい頃からこういうものが身近にあるというのはとてもいいなと思う。

帰りは本日お休みの Naomi が迎えに来てくれたのだが、5 時から Massage の予約があるらしい。Home Alone だと Naomi は笑っていた。慣れて来たのか家族みたいな扱いでちょっと面白かった。自由だなあ。私は report を書きながら Bluno たちとお留守番。Rulu は淋しくなったのか私の足元に来て身体をくっつけてきた。可愛い。Chena は Naomi が大好きで、いつでもどこでもついて行くのだが、彼女がいないときは地下の work place で丸くなっていることが多い。今日はちょっとだけ顔を見せてくれた。Bluno は相変わらず自由にうろうろしていた。室内からも Bunny の気配を感じ、耳をピンと立てているのがわかった。

7 時前くらいに Chris と Stafie、Adri が帰ってくる。Adri の実家は遠いのでアパート暮らしとのこと。月曜から金曜は Stafie と一緒に働いて、ご飯を食べたり遊んだりしている。年が少し離れているのにこんなに仲良しなのは素敵。3 人で Chris のお手伝いをしながらご飯を作る。今日は Pasta と Steak に Salad、デザートに Evan が作った (Maya が作ったと思っていたからびっくりしてしまった。) Brownie。かなり多国籍な料理だった。食後、United States の伝統的な料理やスイーツの話で盛り上がり、Stafie と Adri は材料を買いにスーパーに出かけて行った。9 時から買い物。さすが NightOwl 家族である。待っている間、Maya が、洗濯して完成したという T シャツをくれた。私はピンクと黄色のインクで作ったのだ

が、ほかのTシャツの青っぽい色が移って、洗う前とはまた違う感じになっていた。でもこれもまた素敵。記念にあげると言われたのでありがたくいただくが、ちょっと派手すぎて、鶴岡で着る勇気はないなあ… さすがに台湾でも目立つ気がする。

Stafie と Adri が戻ってくる。まずは RootBeer Float。RootBeer は Dr. pepper に近い味の飲み物で、そこにバニラアイスを入れるだけという簡単デザート。既に 11 時を過ぎていたけれど、デザートは別腹というところがさすがだなと思う。薬品っぽい感じが美味しい RootBeer がちょっとまろやかになって、また別の感じで美味しい。食後、早速は chocolate tips cookie を作り始める 3 人。私はそれを見ながら限界を迎え（眠い…）、結局焼きあがる前に失礼してしまった。Stafie たちは次の日も仕事とのことだが大丈夫だろうか。



8 月 9 日 木曜日（11 日目）

朝起きると、珍しく Naomi が起きていて、昨日作っていた cookie を大量にいただく。3 人から、ほかのメンバーにもとのこと。やはりまだ寝ているみたい。お疲れ様。

朝で Alejandra とはお別れ。host family でもない私にも、とてもよくしてくれ、学校のことについても丁寧にわかりやすく教えてくれた。church でのお別れが淋しくて思いっきりハグしてしまった。本当にありがとう。

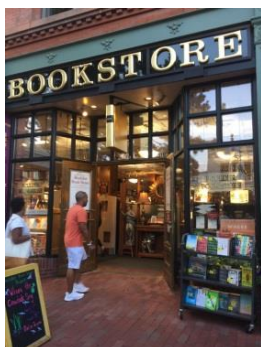
今日は JoAnne の運転で Colorado Springs へ。Denver から南に 2 時間ほどのその町は、Colorado の中でも人口が増えてきている都市らしい。昨日の Chris の話だと第 3 の都市だそうだが、本日の JoAnne によると第 2 の都市らしい。追い越した？ Colorado の中でも町の感じが違って、自然豊かで、でもお家は広くて綺麗でどんな人が住んでいるのか気になった。

はじめに、有名だというホテルに連れて行ってもらう。ホテルはいくつかの棟に分かれていて、中に大きな川やレストラン、お店があつて、これ自体一つの町のような感じだった。ホテ

ルの仕事に興味のある裕香ちゃんにとってはとても刺激的だったらしく、よい機会だと感じた。私もこんな建物見たことなかったから面白かった。

ホテルでご飯を食べた後、The Garden of Gods という、高い山が集まっている所へ。目の前に広がる風景に畏敬を感じるというか言葉が出なかった。素晴らしい経験をさせてもらった。

帰りはMayaがchurchまで迎えに来てくれた。どうやら帰ってからBoulderに行くらしい。NaomiとChrisは先に行っているそうで、私はMayaの運転で、Evanと3人でBoulderへ。メインストリートには平日にも関わらずたくさんの人がいて、大道芸人のパフォーマンスも行われていた。それを見つつ、American料理のお店へ。StafieとAdriが現地集合。でも、今日はAdriはすぐに帰るらしい。最後だからとプレゼントをもらった。そう言われると、最後の夜なんだなあ。毎日が刺激的で長いように感じたけれど、あっという間だった。明日の朝でお別れかあとしんみりしてしまう。ただ、Naomiが「またいつでもおいで。」とか、「次来たときは妹のDaiaが住むSan Franciscoに泊まりに行こう。」「台湾と日本にも遊びに行くからね。」と次の約束をくれたから、前よりは淋しくなかった。



8月10日 金曜日（12日目）

NightOwlのはずのみんなが7時には起きていて、お別れをしてくれたことが本当に嬉しかった。全員とハグをして、Bluno、Rulu、Chenaをなでなです。この家族に会うことができて本当に幸せ。みんな、いつでもおいでと言ってくれる。ZoeのBabyにも会いたいし、改装したFlint家も見たい。Stafieの誕生日プレゼントには新しいPuppyを買ってもらおう。そうだから、次にはまた賑やかになっていると思う。

仕事に行くChrisに送ってもらって空港へ。どうやらSan Francisco空港近くで山火事が

あって、煙がすごいかもしれないとのこと。また、運転しながら様々な trivia を教えてくれた。Chris と話していると父を思い出す。これからしばらく homesick になりそう…。

空港で Chris と別れ、搭乗手続きをする。なんと 10 : 10 の飛行機が飛ばなくなり、代わりに 9 : 10 の飛行機を案内される。頑張ったのだけれど混んでいて間に合わず、なんとか頑張って交渉した所、Denver 11 : 50 発、San Francisco 1 : 39 着の飛行機に乗れることに。ただ、そのおかげで、会えないと思っていた由香さんや裕香ちゃん、幸さん、JoAnne に会うことができた。準備に振り返りにほとんど参加できていないのにみなさん優しく、感謝の気持ちでいっぱい。本当にありがとうございました。

無事 San Francisco には向かえたものの、乗り継いだ次の飛行機は 2 : 10 発。ついてからまた猛ダッシュしなければとドキドキ。山火事は飛行機内からも煙が見えるくらい酷いものだったよう。大丈夫かしら。無事空港に着陸した時点で私の時計は 2 : 10。窓からどこかへ飛んで行く United Airline の飛行機が見える。行ってしまっただろうなと思いながらもとりあえず猛ダッシュ。搭乗口につくと、なんとまだ手続きをやっている様子。そこで気づいたのだが、Denver と San Francisco では 1 時間時差がある！ ギリギリ滑り込んで無事帰ることができた。最後の最後までご心配をおかけしちゃったのだけど無事なんとなって本当によかった。楽しかったこと、大変だったこといろいろあったけれど、どれも良い経験になった。



最後になりますが、海外からの参加ということもあり、幸さん、綾子さんを初めとした国際村の皆さん、Tour でご一緒してくださった由香さんや裕香ちゃん、現地でお世話になった村治さん、JoAnne、その他今回の Tour に関わる皆さんには本当に様々な面でご配慮いただきました。本当にありがとうございました。そのおかげでこの素晴らしい機会をいただけたのだと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。この機会を得たこと、私自身の今後の生活や、関わる子どもたちに生かしていけたらと思っています。

● 参 加 者

名 前	所 属 等
渡部 裕香	鶴岡北高等学校 3 年
塚形 由香	酒田市立若浜小学校、酒田市立泉小学校
日向 絵菜	台北日本人学校

● 関 係 者

名 前	所 属 等
ジョアン リッツィー	コロラド 現地コーディネーター YIA 代表
佐藤 幸	(公財) 出羽庄内国際交流財団

● 研修機関

Colorado School of English

住所： 331, 14th Street Downtown Denver, Colorado 80202

● おわりに

今年で5回目となった英語教育ツアー。今年も多くの方に支えられ、毎日充実した旅となりました。参加者の希望に沿うようにと、いろいろと考えてプログラムを構成して下さったジョアン・リッツィーさん、心からのおもてなしで私達を迎えてくれたホストファミリーの皆さん、短期間にも関わらず英語教育を学ぶためのプログラムを作って受け入れて下さったコロラド・スクール・オブ・イングリッシュの学校の皆さん。その他にも多くの方が私達のために力を尽くしてくださいました。このツアーで、私達は様々な事を学びましたし、さらに何よりも大切な人とのつながりを広げることができました。今回の経験と友情は人生の宝となるものと思います。

今年参加して下さったメンバーの皆さん、時には日本方式、時にはアメリカスタイルで進められたツアーでしたが、積極的に、そしてとても協力的に参加してくださいました。こんなに素晴らしいツアーになったのも、皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

(公財) 出羽庄内国際交流財団 佐藤 幸

